

医史学関係文献目録 (五十音順)

平成 11 (1999) 年

順天堂大学医史学研究室編

- | | |
|----------------------|-----------|
| 01 単行本 | 19 細菌学史 |
| 02 医学切手・書画 | 20 産婦人科史 |
| 03 医学教育 | 21 歯学史 |
| 04 医学用語 | 22 史跡・記念碑 |
| 05 医師会・学会 | 23 疾病史 |
| 06 医史学一般 | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 07 医の倫理 | 25 種痘史 |
| 08 医療器械 | 26 獣医学史 |
| 09 医療制度史・医療史 | 27 書簡 |
| 10 衛生・公衆衛生
・予防医学史 | 28 書誌学 |
| 11 解剖学史 | 29 小児科史 |
| 12 眼科史 | 30 神経学史 |
| 13 看護史 | 31 診断学史 |
| 14 寄生虫学史 | 32 整形外科史 |
| 15 教室・大学史 | 33 精神医学史 |
| 16 軍陣医学史 | 34 生物学史 |
| 17 形成外科学史 | 35 西洋医学史 |
| 18 外科史 | 36 生化学史 |
| | 37 生理学史 |

- | | |
|----------------|-----------------|
| 38 地方史 | 52 法医学史 |
| 39 治療史 | 53 放射線医学史 |
| 40 伝記 | 54 本草学史・博物学史 |
| 41 伝記(双) | 55 麻酔学史 |
| 42 伝染病史・防疫史 | 56 門人録 |
| 43 東洋医学史・伝統医学史 | 57 薬学史 |
| 44 内科史 | 58 蘭学史 |
| 45 皮膚科史 | 59 リハビリテーション関係史 |
| 46 泌尿器科史 | 60 検査 |
| 47 病院史 | 61 その他 |
| 48 病跡学 | 62 中国語文献 |
| 49 病理学史 | 63 韓国語文献 |
| 50 風俗史 | 64 欧文献 |
| 51 仏教医学史 | |

今回は 7、34、51、63 にあたる文献はありません。

01 単行本

宇佐見基典『人名を冠する疾患』

岡田靖雄『江戸期・明治期の精神科医療』中山書店

沖浦和光、宮田登『ケガレ―差別思想の深層』開放出版社

小田泰子『種痘法に見る医の倫理』東北大学出版会

郭秀梅『日本医家金匱要略注解輯要』中国北京学苑出版社

川村純一『病いの克服 日本痘瘡史』思文閣出版

小曾戸洋『漢方の歴史 中国・日本の伝統医学』大修館書店

小曾戸洋『日本漢方典籍辞典』大修館書店
 酒井シヅ(編)、村上陽一郎、宗像恒次、小林武夫、鈴木隆雄、
 酒井シヅ、深瀬泰旦、鈴木則子、立川昭二、福田真人、藤
 田紘一郎、養老孟司『疫病の時代』大修館書店
 坂井建雄『謎の解剖学者ヴェサリウス』筑摩書房
 榊原正義、河田一郎、川嶋正幸『ドイツ近代看護の黎明—フ
 リートナー夫妻の生涯—』時空出版
 佐倉市教育委員会『佐藤進 佐倉市郷土の先覚者』
 曾我英彦、棚橋實、長島隆(編)『生命倫理のキーワード』理
 想社
 第25回日本医学会総会記録委員会『日本医学会百年のあゆ
 み』第25回日本医学会総会
 大学病院医療情報ネットワーク10周年記念式典実行委員会、
 10周年記念誌編集委員会(編)『大学病院医療情報ネット
 ワーク—十年の歩み—』
 (財)内藤記念科学振興財団『若い研究者のために』
 新潟県看護協会『新潟県看護の歩み』
 二宮陸雄『医学史探訪 医学を変えた100人』日経BP社
 日本医史学会神奈川地方会、横浜総合医学振興財団(編)『神
 奈川北東の医史跡めぐり』
 バルトーロメウス、クリスティアーネ(外村中訳)『フィリップ・
 フランツ・フォン・シーボルト(1796-1866) ヴュルプ
 ルク出身の日本研究者』Verlag Ferdinand Schoningh
 平尾真智子『資料に見る日本看護教育史』看護の科学社

松木明知(編集・解説)『西欧医学の系譜—「弘前医学」創刊
 50周年記念稀観医書展図録—』
 若月俊一(監修)松島松翠、川上武、杉山章子、藤井博之『佐
 久病院史』勁草書房

02 医学切手・書画

「ノーベル生理・医学賞の光と陰(1)」安室芳樹『STETHO-
 SCOPE』(157)9-22
 「絵ハガキで見るパリの古い病院(6) アンヴァリッド(パリ
 7区)」今泉孝『医譚』(74)4375-4373
 「切手に見る「消毒」の歴史」榎本一彦『STETHOSCOPE』
 (159)15-19
 「ルネサンスの医人たち」大村敏郎『STETHOSCOPE』
 (158)2-8
 「赤十字物語(1)(2)」小野公義『STETHOSCOPE』(157,
 159)22-27,9-14
 「医学切手アラカルト 医学と神話」河瀬正晴『ふゅーちゃー』
 4(1)18
 「医学切手アラカルト ガン制圧」河瀬正晴『ふゅーちゃー』
 4(2)18
 「医学切手アラカルト 遺伝子診断と遺伝子治療」河瀬正晴
 『ふゅーちゃー』4(3)18
 「医学切手アラカルト 結核との闘い」河瀬正晴『ふゅーち
 ャー』4(4)18

- 「医学切手アラカルト 授乳」河瀬正晴『ふゅーちゃー』4(5)18
- 「医学切手アラカルト 血圧」河瀬正晴『ふゅーちゃー』4(6)18
- 「切手で見る免疫血液学 (152) 簡略エイズ科学史年表」河瀬正晴『Medical Postgraduates』37(1)65-74
- 「切手で見る免疫血液学 (153) 献血者の採血対象年齢」河瀬正晴『Medical Postgraduates』37(2)154
- 「切手で見る免疫血液学 (154) Pasteur 没後 100 年 II」河瀬正晴『Medical Postgraduates』37(2)155
- 「老年学と Gerontophilately (4)」小林佑吉『STETHOSCOPE』(155)2-13
- 「錦絵「飲食養生鑑」酒井シヅ『CLINICIAN』46(477)2-5
- 「杏雨蔵書にみる医学の歴史医家肖像 (その1,2)」芝哲夫『実験治療』(655,656)73-76,232-235
- 「絵葉書でみる高橋明先生」寺畑喜朔『STETHOSCOPE』(157)2-8
- 「医療史料としてみる「吉備大臣入唐絵巻」陶粟爛、西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』23(1)93-97
- 「歯科風俗の描かれた浮世絵のジェンダー (抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』23(1)27
- 「トルコの医学切手 (1)」星和夫『STETHOSCOPE』(156)2-6

03 医学教育

「米軍占領下の医学教育」神谷昭典『医学史研究』(76)5-8

04 医学用語

- 「「癩」「淋」音義考」郭秀梅、加藤久幸『漢方の臨床』46(11)1867-1872
- 「宇田川榕庵の造語「舎密加」「舎密」の出現と幹語・漢字の選択に関する一考察」菅原国香『一滴』(7)26-48
- 「臨床病理言葉の由来と歴史的展望」谷島清郎『金沢大学十全医学会雑誌』108(5)603
- 「用語「健康」の由来を求めて (第2-3報)」八木保、中森一郎『保健の科学』41(8,12)633-638,950-955

05 医師会・学会

- 「歴史探訪 学会の名称を巡って」朝倉哲彦『脳神経外科』27(10)953-957
- 「精神医学関連学会 歴史と最近の動向 総合病院精神医学と日本総合病院精神医学学会について」黒澤尚『最新精神医学』4(4)415-420
- 「東洋医学史における日本東洋医学会 50 年の意味」酒井シヅ『漢方医薬新聞』(251)2
- 「東洋医学史における日本東洋医学会 50 年の意味 (抄)」酒井シヅ『日本東洋医学雑誌』49(6)62
- 「第15回日本医学会会誌について (抄)」渋谷敏、村木春長、

- 渋谷幸男、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』23(1)30
- 「旧医師会解散時における関西医師会清算関係の法律第128号、政令第231号並びに富医発第231号、第232号について、終戦時に生じた不毛の時代の記録」飛見立郎『北陸医史』20(1)24-30
- 「国際獣眼眼科学会 その歴史と活動」福井正信、平見博、古川敏紀『比較眼科研究』18(1-2)9-18
- 「精神医学関連学会 歴史と最近の動向(19) 神経精神医学会 成立ちと最近の動向」三好功峰『最新精神医学』4(6)623-625
- 「東亜医学協会 60年の歩み」矢数道明『漢方の臨床』46(4)929-944

06 医史学一般

- 「幕末期、院内銀山の医療と近郷の医師達「門屋養安日記」にみる庶民の医療(三)(抄)」助昭三『日本医史学雑誌』45(2)258-259
- 「明治、大正期の埋葬許可証にみる病と死亡年齢(抄)」壺岐裕志『日本医史学雑誌』45(2)246-247
- 「日本における医史料の保存について ヨコハマに医学資料館を(抄)」井出研『神奈川医学会雑誌』26(1)180-181
- 「日本における医史料の保存について 1. ヨコハマに医学資料館を…(抄)」井出研『神奈川医学会雑誌』26(1)180-181
- 「医療と歴史との接点を求めて 心臓医学の源流」大村敏郎

- 『医薬の門』39(2)124-127
- 「養生の考え方—歴史から拾った話題(抄)」大村敏郎『日本成人病学会会誌』25,20
- 「Guytonの循環モデルについて 4半世紀後の検討」熊田衛『診療と新薬』36(3)249-250
- 「医学史資料に対する取り組み リヨンの実情」小林晶『臨床と研究』76(3)5-6
- 「身体の記号学〈上〉東西の身体観の違い」酒井シヅ『言語』28(10)14-21
- 「身体の記号学〈下〉絵に現れた東西の身体の違い」酒井シヅ『言語』28(11)14-21
- 「伝承医学—歴史と現状—」酒井シヅ『JACT』1(3)44-47
- 「日本における医史料の保存について 2. 世界的な「横浜医学資料館」を作って欲しい(抄)」酒井シヅ『神奈川医学会雑誌』26(1)181
- 「歴史から見た現代の医学・医療 11 新大陸からの新薬」酒井シヅ『いずみ』46(1)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 12 科学革命後の医学の変化」酒井シヅ『いずみ』46(2)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 13 近代病理学と新しい診断法」酒井シヅ『いずみ』46(3)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 14 科学的医学の登場」酒井シヅ『いずみ』46(4)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 15 細菌学の確立」酒井シ

- ツ『いずみ』46(5)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 16 19世紀に始まった外科革命」酒井シヅ『いずみ』46(6)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 17 19世紀後半に活躍した外科医」酒井シヅ『いずみ』46(7)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 18 診断と現代医学」酒井シヅ『いずみ』46(8)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 19 治療薬・薬学の興隆」酒井シヅ『いずみ』46(9)8-9
- 「歴史から見た現代の医学・医療 20 医学統計と公衆衛生(完)」酒井シヅ『いずみ』46(10)8-9
- 「身体観の歴史人は「からだ」をどうみてきたか(抄)」酒井シヅ『日本医史学雑誌』45(2)147-154
- 「「中日両国疫病史対照年表」作成にあたって(抄)」邵沛『日本医史学雑誌』45(2)302-303
- 「医療における近代と脱近代 医療と「近代性」」進藤雄三『保健医療社会学論集』(10)32-37
- 「『看病用心抄』とターミナル・ケア(抄)」杉田暉道『神奈川医学会雑誌』26(1)177
- 「『看病用心抄』成立の社会的背景(抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』45(2)254-255
- 「低温医学の歴史(その1-3)」隅田幸男『低温医学』25(1-3)74-77, 104-107, 141-143
- 「医療における近代と脱近代 近代/脱近代という正しさ/危うさ」立岩真也『保健医療社会学論集』(10)26-31
- 「〈医は意なり〉攷—医学思想的観点から—(抄)」館野正美『日本医史学雑誌』45(1)134-135
- 「シンポジウム「労働科学とゲッチンゲン医学古典文庫」を聞いて」月澤美代子『労働の科学』54(5)298-299
- 「長崎の出島での東西文化の出会い—ジョン・バワーズ博士の著書「日本における西洋医学の先駆者」の紹介—」津田良成『あいみつく』20(3)22-24
- 「医史料の蒐集と保存 余録(抄)」寺畑喜朔『医譚』(74)60
- 「「言経卿記」中の医療について(抄)」中山沃『日本医史学雑誌』45(2)170-171
- 「病気病因論に関する歴史的考察」沼田郁子『神奈川県立看護教育大学校看護教育研究集録』(24)8-14
- 「医学館の学問形成(一) 医学館成立前後」町泉寿郎『日本医史学雑誌』45(3)339-372
- 「医学館の学問形成(二) 寛政の改革期の官医たちの動向—『よしの冊子』の記事から—」町泉寿郎『日本医史学雑誌』45(4)515-542
- 「日本における医史料の保存について 「医史料の保存についての委員会」の設立(抄)」松木明知『神奈川医学会雑誌』26(1)181
- 「日本における医史料の保存について 2. 「医史料の保存についての委員会」の設立(抄)」松木明知『神奈川医学会雑誌』26(1)181

「中世近世と現代の「古い」の文化の比較検証 (抄)」湯浅高行、藤野日男、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』23(1)21
「近代医学の成立と代替医療の100年史 USAにおける代替医学の登場を踏まえて」蓬田康弘『総合医学』22(11)27-37

08 医療器械

「医療と歴史との接点を求めて プラヴァーズの注射器」大村敏郎『医薬の門』39(1)2-5
「日本麻酔学会麻酔機器規格委員会の歴史と日本工業規格 (JIS)」佐藤暢『麻酔』48(6)670-671
「実体験に基づく脳神経ならびに心臓活動の光学的計測機器開発史の研究」神野耕太郎『医科器械学』69(6)253-261
「学説・診療の変遷 内視鏡の誕生」多賀須幸男『臨床科学』35(3)395-402
「文芸・芸能にみる内視鏡のルーツ (抄)」丹羽寛文『Gastroenterological Endoscopy』41(臨増)1697
「グスタフ・キリアンとその業績内視鏡の夜明け (英文)」Hoermann Karl『日本気管食道科学会会報』50(1)31-36
「切割器具の歴史の変遷 (抄)」長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』23(1)10
「超音波内視鏡の基本 超音波内視鏡開発の歴史」福田守道『臨床消化器内科』14(5)527-536

09 医療制度史・医療史

「健康保険が生まれるまで 福沢諭吉、後藤新平、森鷗外、小泉親彦、友納武人らの業績」伊佐二久『熊本医学会雑誌』73(1)64-70
「我が国における日米の原爆被害研究の拠点—Radiation Effects Research Foundation—」上野陽里『医学史研究』(76)641-644
「江戸幕府の医療制度に関する史料 (九) (その一) —坂四家の『官医家譜』等 (一)—」香取俊光『日本医史学雑誌』45(3)449-458
「ヘルスサービスとヘルスケア、英国の例 (抄)」栗本宗治『医譚』(74)57
「占領期の医療政策」杉山章子『医学史研究』(75)583-587
「中国の社会保障の現状 (抄)」陶粟爛『日本歯科医史学会々誌』23(1)19
「イギリスの医療と問題点歴史的な医療制度」所敏治、坪井良真『東京小児科医会報』17(3)58-61
「20世紀医療史 50 比較医療制度論」野村拓『月刊保団連』(606)50-51
「20世紀医療史 51 スーパー医療学」野村拓『月刊保団連』(610)52-53
「20世紀医療史 52 引き裂かれる看護」野村拓『月刊保団連』(613)50-51
「20世紀医療史 53 医療費抑制コンクール」野村拓『月刊保

- 団連』(616)50-51
- 「20世紀医療史 54 日本医療への視線」野村拓『月刊保団連』(617)50-51
- 「20世紀医療史 55 アメリカ医療ブルース」野村拓『月刊保団連』(620)58-59
- 「20世紀医療史 56 「世紀末」現象」野村拓『月刊保団連』(621)58-59
- 「20世紀医療史 57 ケアプランとは」野村拓『月刊保団連』(626)50-51
- 「20世紀医療史 58 人口学と医療」野村拓『月刊保団連』(631)66-67
- 「20世紀医療史 59 EUと医療」野村拓『月刊保団連』(634)58-59
- 「20世紀医療史 60 女性と医療・介護」野村拓『月刊保団連』(639)34-35
- 「医療保障・自由集会 (1959-79)」(日本公衆衛生学会)の記録②僻地医療と地方衛生行政の諸問題」東田敏夫『医学史研究』(75)18-24
- 「医療保障・自由集会 (1959-79)」(日本公衆衛生学会)の記録③医療報酬の形態について」東田敏夫『医学史研究』(75)25-31
- 「医療保障・自由集会 (1959-79)」(日本公衆衛生学会)の記録④原爆被害者の医療と福祉をめぐる問題点」東田敏夫『医学史研究』(76)17-21

- 「医療保障・自由集会 (1959-79)」(日本公衆衛生学会)の記録⑤公害被害者の医療救済をめぐる問題点」東田敏夫『医学史研究』(76)22-29
- 「明治八年から一六年までに実施された内務省医術開業試験について (抄)」樋口輝雄『日本医学史雑誌』45(2)272-273
- 「ニューヨーク州の保健行政 ニューヨーク州保健省の歴史、組織と機能」ホスラー晃子『公衆衛生』63(11)826-829
- 「占領期の生活と健康—本年度総会「要望課題」提案に関連して—」水野洋『医学史研究』(76)1-4
- 「日本の社会福祉 社会福祉制度の歴史の変遷」三友敬太、奥野英子『総合リハビリテーション』27(1)43-48

10 衛生・公衆衛生・予防医学史

- 「がん検診 集団検診の歴史」池田卓『からだの科学』(臨増)36-39
- 「生きかた」と「働きがい」に関する史的探究シリーズ 14 『リーダーの生きかた』岩倉使節団のみた米欧の労働衛生事情」乾修然『創健』(21)9-10
- 「生きかた」と「働きがい」に関する史的探究シリーズ 15 『リーダーの生きかた』岩倉使節団のみた米欧の労働衛生事情・その2アメリカの開拓と繁栄をどうとらえたか」乾修然『創健』(22)9-10
- 「生きかた」と「働きがい」に関する史的探究シリーズ 16 『リーダーの生きかた』岩倉使節団のみた米欧の労働衛

- 生事情・その3近代衛生行政に開眼した初代衛生局長と専齋 乾修然『創健』(23)11-12
- 「生きかた」と「働きがい」に関する史的探究シリーズ 17『リーダーの生きかた』岩倉使節団のみた米欧の労働衛生事情・その4国家評価の視点—国家の「営業力」乾修然『創健』(24)9-10
- 「生きかた」と「働きがい」に関する史的探究シリーズ 22『リーダーの生きかた』中小企業の労働衛生の発展に寄与した人々(その1)日本のロバート・オーウエン—佐久間貞一—乾修然『創健』(30)9-10
- 「生きかた」と「働きがい」に関する史的探究シリーズ 23『リーダーの生きかた』中小企業の労働衛生の発展に寄与した人々(その2)会員制労働衛生センターを創設した—宮木男也—乾修然『創健』(31)11-12
- 「近代衛生行政を築いた人達近代衛生行政に開眼した第2代衛生局長長與専齋 乾修然『産業医学ジャーナル』22(6)68-71
- 「養生の考え方—歴史から拾った話題(抄)」大村敏郎『臨床成人病』29(5)606
- 「ほこりとともに50年粉塵測定のおゆみ[1]労研式塵埃計について」木村菊二『労働の科学』54(1)54-57
- 「結核とハンセン病について考える 結核予防会60年の軌跡」島尾忠男『公衆衛生』63(3)164-169
- 「日本における養生論の引用書目の変遷(抄)」瀧澤利行『日

- 本医史学雑誌』45(2)230-231
- 「産業衛生の七十年・学会活動のある側面史(抄)」野村茂『産業衛生学雑誌』41(2)40
- 「働く人の健康(17)けい肺・じん肺—粉じん障害の防止—」野村茂『労働の科学』54(2)88-89
- 「地方都市における産業保健活動の歴史と現状 地域産業保健センター事業10年を振り返って(抄)」林文明『産業衛生学雑誌』41(臨増)112-113
- 「江戸時代の養生書」町泉寿郎『健康文化研究助成論文集』(5)108-115
- 「食医&疾医(貝原益軒・香月牛山から吉益東洞への道)—私を目指すもの」宮崎綾子『漢方の臨床』46(1)160-167
- 「治療の歴史 手洗い」森兼啓太、小西敏郎、小林寛伊『治療学』33(6)689-692

11 解剖学史

- 「歴史探訪 脳はなぜ脳と書くのか」朝倉哲彦『脳神経外科』27(3)287-290
- 「解剖学者としてのレオナルド・ダ・ヴィンチ 頭部の解剖学的研究を中心として」犬山征夫『JOHNS』15(5)810-816
- 「シャレコーベは語る」1. 語源をたずねて」河本圭司『いずみ』46(3)16-17
- 「シャレコーベは語る」2. 赤いシャレコーベの謎」河本圭司『いずみ』46(4)16-17

- 「“シャレコーベは語る” 3. マヤ・アステカ文明の生け贄」河本圭司『いずみ』46(5)16-17
- 「“シャレコーベは語る” 4. インカの穿頭、変形頭蓋骨を訪ねて」河本圭司『いずみ』46(6)16-17
- 「“シャレコーベは語る” 5. 水晶ドクロの謎」河本圭司『いずみ』46(7)16-17
- 「“シャレコーベは語る” 6. グーウィン・モンキー」河本圭司『いずみ』46(8)12-13
- 「“シャレコーベは語る” 7. 武将・石田三成の復顔」河本圭司『いずみ』46(9)12-13
- 「“シャレコーベは語る” 8. 位牌は頭蓋骨をあらわす」河本圭司『いずみ』46(10)12-13
- 「グリアもはや脇役ではない グリア研究の歴史と現状」工藤佳久『Clinical Neuroscience』17(9)970-974
- 「系統解剖学の起源としてのヴェサリウス解剖学 (抄)」坂井建雄『日本医史学雑誌』45(2)178-179
- 「系統解剖学の起源としてのヴェサリウスの解剖学 (抄)」坂井建雄『解剖学雑誌』74(1)136
- 「明治初期の系統解剖学書」島田和幸『鹿児島大学歯学部紀要』19, 15-21
- 「カミロ・ゴルジとサンチャゴ・ラモニ・カハール—神経系の構造の解明」月澤美代子『科学技術ジャーナル』8(8)30-31
- 「ウィリアム・ハーヴィー『普遍解剖学講義』における心臓の運動の提示 (抄)」月澤美代子『日本医史学雑誌』45(2)180-

181

「脳を固める・切る・染める 先人の知恵」萬年甫『Brain Medical』11(1,3)81-86, 289-296

12 眼科史

- 「白内障手術の歴史」清水君也『眼科臨床医報』93(9)1447
- 「文庫の窓から 眼療器具の種々 江戸時代眼科諸流派の古写本に見る」中泉行史、中泉行弘、斎藤仁男『臨床眼科』53(12-13)1940-1941, 2010-2011
- 「ポンペが松本良順に贈ったジッヘル著『眼病図譜』について (抄)」山之内卯一、千葉弥幸『日本医史学雑誌』45(2)200-201

13 看護史

- 「深谷赤十字病院の、これが助産婦の仕事だ 助産婦活動の歴史と活動のアウトライン」江角二三子『助産婦雑誌』53(10)835-837
- 「G.E. Alt による占領下の看護改革 (3) 一看護改革に携わった期間における地位とメソジスト教会との関係」大石杉乃『第19回日本看護科学学会学術集会講演集』262-263
- 「戴帽式のはじまり・移り変わり」大石杉乃『看護学生』47(6)48-51
- 「ひろがる助産婦活動 助産婦活動の歴史」岡本喜代子『ペリネイタルケア』1999(夏期増刊)55-68

- 「ナイチンゲール在宅医療へのまなざし 女性の歴史と女性性 (ジェンダー)」小川典子『看護管理』9(10)808-809
- 「ナイチンゲール在宅医療へのまなざし 歴史研究の意義」小川典子『看護管理』9(7)546-547
- 「増加する緩和ケア病棟 その背景と求められる看護職の役割 日本における緩和ケア病棟の歴史と現在」柏木哲夫『看護』51(3)24-28
- 「訪問看護とリハビリテーション 訪問看護の歴史の変遷と現況」佐藤美穂子『総合リハビリテーション』27(3)203-209
- 「わが国における「地域看護」の概念の歴史の変遷」重村峯子、上田まゆみ、天野雅子、岸田真弓、白井英子、吉田礼維子、高橋恭子、石川賀子、小関三千代、北村久美子『看護教育』40(1)52-59
- 「日本における精神科看護の歴史 桜ヶ丘記念病院の精神衛生法時代(前期)の看護に焦点を当てて」白石寿美子『慶應義塾看護短期大学紀要』9, 51-63
- 「看取りの文化とその歴史(抄)」新村拓『神奈川医学会雑誌』26(1)178-180
- 「一産婆生徒の「日記帳」から見る産婆教育の分析(抄)」高橋みや子『第3回北日本看護学会学術集会抄録集』58
- 「山形県における近代産婆教育資格制度の制度化の過程とその特質」高橋みや子『第19回日本看護科学学会学術集会講演集』274-275

- 「明治助産史 過去から未来へのアプローチ 助産学確率の潮流」『助産之葉』學會誌」内藤直子、日隅ふみ子『助産婦』53(2)47-53
- 「占領時の看護制度」長門谷洋治『医学史研究』(76)645-648
- 「ドイツにおける精神科家庭看護の盛衰史」橋本明『精神医学史研究』2, 9-18
- 「英国国教会の修道女会による看護婦訓練—ナイチンゲール学校との比較をとおして(抄)」平尾真智子『第50回キリスト教史学会発表抄録集』44
- 「看護思想の源流9 中世アラビアのガレニズムと non-naturals」平尾真智子『総合看護』34(1)55-62
- 「看護思想の源流10(補足2・最終回) 近代ヨーロッパの医学と non-naturals」平尾真智子『総合看護』34(2)97-102
- 「個人医院内に開設された看護婦養成施設に関する研究—高岡看護婦養成所(明治42年~大正6年)の事例を中心に(抄)」平尾真智子『第43回教育史学会抄録集』122-123
- 「日本における看護婦養成の開始とアメリカ女性宣教師の役割—リード、ツルー、リチャーズの活動を中心に」平尾真智子『山梨県立看護大学紀要』(1)17-27
- 「十九世紀末ドイツのベルリン学派によるヒプルギー(Hypurgie, 看護療法)について」平尾真智子『日本医史学雑誌』45(1)132-133
- 「看護のための「いのちの歴史の物語」(4-7)」本田克也、浅野昌充、加藤幸信『総合看護』34(1-4)49-54, 33-38, 82-85,

59-63

「戦後の産科医療の変遷 産科学雑誌をもとに」松岡悦子
『旭川医科大学紀要』(20)53-65

14 寄生虫学史

「飯島魁と近代寄生虫学の系譜 (抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』45(2)220-221

15 教室史

「九州歯科医学専門学校と秋吉音治理事 (抄)」上瀉口武、小林繁、嶋村昭辰『日本歯科医史学会々誌』23(1)16

「九州歯科医学専門学校における航空部について (1) (抄)」上瀉口武、小林繁、嶋村昭辰『日本歯科医史学会々誌』23(1)17-18

「昭和初期、二私立医専の創始について一大阪高等医専、大阪女子高等医専一(抄)」長門谷洋治、坂上俊之『日本医史学雑誌』45(2)250-251

「大阪大学医学部「医学史料室」の開設とその歩み」松田武『医学史研究』(76)30-34

16 軍陣医学史

「陸軍における航空医学の夜明け (抄)」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』45(2)248-249

「明治三十年代前半の歩兵聯隊雪中行軍」小関恒雄『医譚』

(74)1-10

「日本海軍歯科医科士官の歴史 (IX) 創設への動き (抄)」山崎智『日本歯科医史学会々誌』23(1)45-46

17 形成外科史

「古典あれこれ 外鼻形成術におけるインド法のヨーロッパへの伝搬について」飯田収『JOHNS』15(10)1618-1624

「独立専門分野としての美容形成外科の歴史 (英文)」Sharma Vijay, Sharma Vandana『日本美容外科学会誌』36(1)33-34

「ケミカルピーリングの実際と効果」鈴木晴恵『日本美容外科学会会報』21(2)61-73

18 外科史

「『阿蘭陀外科指南』の背景について (抄)」ヴォルフガング・ミヒェル『日本医史学雑誌』45(2)236-237

「歴史的変遷からみた進行胃癌に対する大動脈周囲リンパ節郭清の意義(抄)」太田恵一朗、新井正美、野村崇、衛藤謙、山本浩史、加藤浩樹、大山繁和、高橋孝、中島聰總『日本消化器外科学会雑誌』32(2)215

「アトラスでみる胃癌の手術 胃癌手術の歴史的変遷」太田恵一朗、大山繁和、高橋孝、武藤徹一郎、中島聰總『消化器外科』22(8)1175-1184

「消化器外科の世紀 消化器病 100年と外科 100回の狭間の

- 年に(抄) 大村敏郎『日本消化器外科学会雑誌』32(6) 1371
- 「瘳切除後の瘳消化管吻合の歴史と密着式瘳空腸吻合の理論と実際(抄) 柿田章『日本外科学会雑誌』100(臨増)11
- 「わが国の脳神経外科における脊椎・脊椎外科の歴史」角家暁『脊髄外科』13(1)1-14
- 「研究論文における術前手洗いの歴史的考察 部分ブラシ併用の揉み手洗いの妥当性」金藤睦子、森本田恵子、山本京子『看護技術』45(4)420-425
- 「子どもの心臓移植(抄) 川島康生『若年者心疾患対策協議会誌』26(2)3-11
- 「低侵襲心臓血管手術 基礎から臨床まで 低侵襲心臓手術の歴史」岸本良三『循環科学』19(1)6-8
- 「帝王切開術と産婆世界への男性外科医の侵入(1)」小松真理子『科学医学資料研究』(300)1-12
- 「癌の語源」酒井シヅ『Mamma』(32)2
- 「乳房」酒井シヅ『Mamma』(33)2
- 「乳房賛美と日本人」酒井シヅ『Mamma』(34)2
- 「朝鮮時代侵襲的外科術の発達(抄)」申佐燮、奇昌徳『日本医史学雑誌』45(2)308-309
- 「伝記にみる血管の外科 紅毛流外科から和流外科へ」田辺達三『外科』61(5)557-560
- 「わが国の肝移植はなぜ進まないのか? わが国の肝移植、なぜ進まなかったのか、これからどう進むべきか」土肥雪

- 彦、丸林誠二、浅原利正『肝臓』40(Suppl. 2)136
- 「胃腸手術における感染コントロール 歴史と将来への展望(抄)(英文)」Polk Jr. Hiram C『日本消化器外科学会雑誌』32(2)207
- 「ナースが知っておきたい低侵襲心臓手術の看護 低侵襲心臓手術とは?」前原正明『ハートナーシング』12(8)1062-1065
- 「原著を探る 水痘症の最初の手術」松本悟『Clinical Neuroscience』17(1)110-113

19 細菌学史

- 「済生学舎の顕微鏡科実地演習一特に原玄一郎のベスト菌標本について(抄)」唐沢信安『日本医史学雑誌』45(2)226-227
- 「大正4年北里研究所での志賀潔らの講義録(抄)」田中祐尾『医譚』(74)63

20 産婦人科史

- 「生殖内分泌学を築いた巨匠達の群像 生殖内分泌学のあけぼの(前)」五十嵐正雄『HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY』6(3)298-303
- 「学説・診療の変遷 子宮内膜炎」石原力『臨床科学』35(2)253-260
- 「助産婦の歴史」石原力『ペリネイタルケア』18(1-12)96-97,

- 166-167, 278-279, 374-375, 446-447, 562-563, 642-643, 714-715, 810-811, 924-925, 1023-1024, 1094-1095
- 「分娩論 その様式と周辺 帝王切開の歴史」石原力『産婦人科の世界』51(11)999-1007
- 「新潟の助産婦教育の黎明」蒲原宏『助産婦雑誌』53(2)150-159
- 「分娩論 その様式と周辺 分娩の歴史」國本恵吉『産婦人科の世界』51(11)989-997
- 「症例検討 無痛分娩 バランス麻酔 その歴史と実際」鈴木健治『LiSA』6(2)164-165
- 「母胎死亡・胎児死亡 母胎死亡・周産期死亡の歴史の変遷と今後の課題」武田佳彦『周産期医学』29(11)1315-1319
- 「産婦人科手術シリーズ 子宮頸癌手術術式 歴史と基本理念 (2)」藤井信吾、落合和徳、桑原慶紀『産科と婦人科』66(5)595-600
- 「産婦人科手術シリーズ 子宮頸癌手術術式 歴史と基本理念」藤井信吾、桑原慶紀、落合和徳『産科と婦人科』66(6)719-726
- 「日本の避妊法の歴史 とくにIUDを中心として」本多洋『母性衛生』40(2)3-5
- 「わが国における更年期障害に関する歴史的考察 朝日新聞の分析から (第1-2報)」松山敏剛、佐藤珠美『母性衛生』40(3)277-278
- 「助産学の展望 遅すぎたと後悔するな」三井政子『名古屋

- 市立大学看護短期大学部紀要』(11)1-9
- 「施設内分娩の増加に伴う出産における「自然」の意味の変容」渡邊竹美、浅井美智子『保健医療社会学論集』(10)56-64

21 歯 学 史

- 「Dental News Letter から Dental Cosmos、さらに Jnl. of A.D.A. への継続・変遷を辿る (その1) Dental News Letter と Dental Cosmos (抄)」新井勉、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』23(1)36-37
- 「Digital Camera in Orthodontics 歴史の町のモダン・テクノロジー あるイタリアの矯正歯科医におけるデジタルカメラ活用事例」有本博英『The Quintessence』18(1)256-257
- 「歯科ほど素敵な“わざ”はない (抄)」石川達也『日本歯科医史学会々誌』23(1)9
- 「カナダに於ける歯科教育の歴史～第12報～1925～1929年間の歯科及び歯科教育の貢献者像一」尾島光栄、Kenji Kenneth SHIMIZU『日本歯科医史学会々誌』22(4)214-219
- 「カナダに於ける歯科教育の歴史～第13報～1930～1934年間の歯科及び歯科教育の貢献者像一」尾島光栄、Kenji Kenneth SHIMIZU『日本歯科医史学会々誌』22(4)220-223
- 「Joseph Fox 著 “Natural History of Human Teeth Includ-

- ing...” (1803.1806) の書誌学的研究 (抄)」春日芳彦、森山徳長、塩津二郎、本間孝『日本歯科医史学会々誌』23(1)12-13
- 「Occlusion Today 歯科矯正学的立場から 矯正歯科における咬合 考え方の歴史」川本達雄『歯科医学』62(3)173-174
- 「“Scouting for Boys”における「歯」に関する記述について」佐藤恭道、大熊毅、別部智司、戸出一郎、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』23(1)87-92
- 「木床義歯の床用材について (抄)」新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』23(1)29
- 「顎関節症の診断分類とその困難性 比診断分類応用の提案」杉崎正志『日本歯科評論』(676)171-183
- 「明治期歯科医学書の書体・用語法の分析的研究 (その4) 保歯新論の現代語への自動翻訳の試み (抄)」高崎一郎、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』23(1)31
- 「21世紀に向けて医師と歯科医師の連携による包括的チーム医療を考える 病理医と口腔病理医の役割、その現状の再認識 歯科医師 (医の博物館・副館長) の立場から 医師と歯科医師の過去・現在・未来の協力関係 医療の歴史資料に基づいて」西巻明彦『歯界展望』93(2)420-423
- 「医師と歯科医師の過去・現在・未来の協力関係 医療の歴史資料に基づいて (抄)」西巻明彦『日本口腔外科学会雑誌』45(1)36
- 「医療とアメニティの関連性の考察 (その3) (抄)」西巻明彦、陶栗嫻『日本歯科医史学会々誌』23(1)26
- 「清熱剤に於ける歯科的研究 (抄)」西巻明彦、屋代正幸、藤野坦男『日本歯科医史学会々誌』23(1)25
- 「明治時代から第二次世界大戦前までの歯科医師数の推移について (第3報-都道府県別)」丹羽源男、岩上智彦、佐藤亨『日本歯科医史学会々誌』22(4)209-213
- 「“The Mouth and the Teeth” 初版本 (1879) と『保歯新論』(1881) について (抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』23(1)14
- 「島好節の『毒歯論』について (抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』23(1)15
- 「歯科補綴学に於ける H.E.S. Chayes の業績と理論について」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』22(4)224-230
- 「江戸時代における一入歯師一族の系図について (抄)」松田信隆『日本歯科医史学会々誌』23(1)53
- 「明治時代における一入歯師の資料について (抄)」松田信隆『日本歯科医史学会々誌』23(1)52
- 「最後の高等学校 (抄)」水川秀海『日本歯科医史学会々誌』23(1)40-41
- 「石黒忠恵『外科説約』およびアグニュー著・鳥谷部政人訳『外科新論』の歯科治療法について」森山徳長、小坂剛也、太田実、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』23(1)63-71

22 史跡・記念碑

- 「くすり博物館見学と岐阜医史跡めぐり」『医譚』(74)52
 「パリ大学旧医学部大円形講堂にある壁画について(抄)」清水陽人『日本医史学雑誌』45(2)210-211
 「大阪市の医学史跡—適塾・阪大医学部関係を中心に—」長門谷洋治『第92回近畿皮膚科集談会抄録集』5-9
 「リサールの記念碑」古川明『杉並区医師会雑誌』(8)154-158

23 疾病史

- 「泉熱の発見をめぐって(抄)」泉彪之助『医譚』(74)56
 「腎不全とホモシスティン(1)高ホモシスティン血症研究の歴史と意義」磯田和雄、金成洙『臨床透析』15(2)151-158
 「歴史の変遷からみた胃癌に対するリンパ節郭清の意義」太田恵一朗、大山繁和、高橋孝、武藤徹一郎、中島聰總『日本癌治療学会誌』34(2)280
 「日本文学にみる医療思潮の歴史の変遷—疾病観の多重構造—」大星光史『日本医史学雑誌』45(1)3-30
 「病が語る日本史12 虫病」酒井シヅ『大法輪』66(1)162-167
 「病が語る日本史13 眼病」酒井シヅ『大法輪』66(2)164-171
 「病が語る日本史14 脚気」酒井シヅ『大法輪』66(3)178-183
 「病が語る日本史15 ガン」酒井シヅ『大法輪』66(4)166-

172

- 「病が語る日本史16 結核」酒井シヅ『大法輪』66(5)176-180
 「病が語る日本史17 赤痢」酒井シヅ『大法輪』66(6)200-204
 「病が語る日本史18 麻疹」酒井シヅ『大法輪』66(7)182-186
 「病が語る日本史19 消えた病気」酒井シヅ『大法輪』66(8)190-194
 「病が語る日本史20 天然痘と種痘」酒井シヅ『大法輪』66(9)200-204
 「病が語る日本史21 らい・ハンセン病」酒井シヅ『大法輪』66(10)208-212
 「病が語る日本史22 事件簿」酒井シヅ『大法輪』66(11)208-212
 「病が語る日本史23 ペスト」酒井シヅ『大法輪』66(12)202-207
 「Pick病 Pick病の歴史と概念の変遷」土谷邦秋『神経内科』50(4)321-328
 「スルタンと痛風」西沢常男『高尿酸血症と痛風』7(1)77-82
 「職業病と公害病—水俣病は予見できた—」原田正純『労働の科学』54(4)254-257

24 耳鼻咽喉科史

- 「身振り言語と聾啞者の教育 その史的背景」青木喜九雄、中原凱文、森下節子『看護総合科学研究会誌』2(1)2-12
- 「古典あれこれ 耳垢小見5—遺伝研究抄 竹中から市田まで」飯沼壽孝『JOHNS』15(3)538-540
- 「古典あれこれ 耳垢小見6—耳垢栓塞異聞—」飯沼壽孝『JOHNS』15(6)946-949
- 「古典あれこれ 耳垢小見7—遺伝研究抄 高宮から片山まで—」飯沼壽孝『JOHNS』15(9)1476-1479
- 「咽頭全摘術語の音声リハビリテーションの歴史」犬山征夫『JOHNS』15(2)262-270
- 「アレルギー性鼻炎と類縁疾患歴史、研究と診療の問題点」奥田稔『近代医療』31(増刊IV)2806-2808
- 「頭位性めまい 耳石器の発生と進化及び耳石器機能検査の歴史」加我君孝、室伏利久『Equilibrium Research』58(4)358
- 「口腔顎顔面外科の歴史より見る現状と未来への展望(抄)」清水正嗣『日本口腔科学会雑誌』48(3)228
- 「きこえの検査 きこえの検査の歴史の変遷」立木孝『JOHNS』15(1)5-8
- 「睡眠時無呼吸と睡眠障害 睡眠時無呼吸研究の歴史と展望」戸川清『JOHNS』15(11)1655-1659
- 「めまい・平衡障害 神経耳科学誕生の歴史 1789年 Antonio Scarpaの前庭器に関する記述以来ヨーロッパにおける前

庭研究の歴史についての二三の見解(英文)」Werner Johann-Friedrich『Modern Physician』19(2)117-119

「教育講座 わが国におけるメニエール病研究史(その3)昭和時代(II)」渡辺いさむ『Equilibrium Research』58(4)277-286

25 種痘史

- 「北海道種痘の濫觴並擇捉島番人五郎治事蹟」『北辰』(2)17-22
- 「五郎次の種痘」阿部竜夫『北辰』(2)43-70
- 「アメリカにおける人痘接種法—一七二一年からアメリカ独立まで—(その三)」小田泰子『日本医史学雑誌』45(1)31-44
- 「人痘接種法に反対したイギリスの牧師マッセイの説教」小田泰子『日本医史学雑誌』45(1)77-84
- 「レイディ・メアリの息子が人痘接種を受けた日付と場所について(抄)」小田泰子『日本医史学雑誌』45(2)240-241
- 「北海道種痘の濫觴」小貫庸徳『北辰』(2)13-15
- 「中川五郎次が種痘事蹟・蝦夷地に於ける種痘概論」関場不二彦『北辰』(2)31-41
- 「疾病流行史 天然痘—その流行と終焉」深瀬泰旦『疾病の時代』91-118

26 獣医学史

- 「獣医学教育6年制改革運動を顧みて」今道友則『日本獣医学雑誌』(36)28-42
- 「絵巻物にみる中世獣医史料(4)」中井薫『日本獣医学雑誌』(36)43-49
- 「宇田川榕菴「馬匹解剖図坊馬勃一種」の絵巻物および関連資料について」松尾信一『日本獣医学雑誌』(36)1-8
- 「『解馬新書』の骨学用語について(抄)」松尾信一『日本医学雑誌』45(2)286-287
- 「“奇遇”—三井高孟編「猿の四季」のこと—」間庭秀信『日本獣医学雑誌』(36)55-56
- 「獣医学の医学への貢献」光岡知足『日本獣医学雑誌』(36)9-27
- 「日本における獣医寄生虫学の歴史」ロンカーリ R.A.『日本獣医学雑誌』(36)50-52
- 「元祿・寶永年間に於ける對馬殲猪の事績」渡瀬庄三郎『行動と文化』(4)2-13

27 書簡

- 「池田文書の研究(十九)山川幸喜の書簡」池田文書研究会『日本医学雑誌』45(1)99-109
- 「池田文書の研究(二十)高階経本・岩佐登弥太・桂秀馬・片山芳林の書簡」池田文書研究会『日本医学雑誌』45(3)421-433

- 「水谷豊文の岩崎灌園宛書簡について I」遠藤正治『慈齋研究会だより』(87)2-5
- 「ヴェルツブルグとレントゲンの書簡(抄)」中原泉『日本歯科医学學會々誌』23(1)42
- 「高岡長崎家伝蔵書簡の研究(一)」正橋剛二『北陸医史』20(1)34-39

28 書誌学

- 「専門性をみがこう Index Medicus, MEDLINE, MeSH の変遷とその歴史」青木仕『医学図書館』46(3)287-295
- 「ケルスス『医学論』(14)」石渡隆司、小林晶子『医事学研究』(14)77-132
- 「江戸時代の京都における医学書出版元一覧」上野陽里『医学史研究』(75)37-45
- 「月湖編纂『大徳濟陰方』の再検討」遠藤次郎、中村輝子『漢方の臨床』46(10)1729-1737
- 「月湖編纂『大徳濟陰方』の再検討—原『全九集』の探求—」遠藤次郎、中村輝子『漢方の臨床』46(12)1975-1985
- 「田代三喜著『和極集』の研究—一曲直瀬道三著『授蒙聖功方』、同著『師語録』、西忍著『藪明集』との比較検討—」遠藤次郎、中村輝子『漢方の臨床』46(1)147-159
- 「田代三喜が中国から持ち帰ったといわれる『大徳濟陰方』の検討(抄)」遠藤次郎、中村輝子『日本医学雑誌』45(2)266-267

- 「横浜市大医学部医学情報センター所蔵の古医書の紹介」大島智夫『神奈川医学会雑誌』26(2)367
- 「大塚敬節による『類聚方広義』解釈(1-3)」大塚賢治、渡辺洋井『漢方の臨床』46(9-11)1545-1553, 1738-1746, 1847-1855
- 「石田昇『新撰精神病学』の第1版から第9版まで その内容の変遷」岡田靖雄『精神医学史研究』2, 27-33
- 「皮膚科医学史 『異本本草紙』について」荻野篤彦、服部瑛『皮膚病診療』21(8)751-759
- 「飯沼慾斎の『本草図集』から一覚書き 1、2-」奥沢康正『慾斎研究会だより』(85-86)2-7
- 「最初期英国歯科医学雑誌の総括的研究(抄)」亀谷博昭、森山徳長、塩津二郎、春日芳彦『日本歯科医史学会々誌』23(1)34-35
- 「『福岡藩奥御番醫亀鑑』について」木下勤『漢方の臨床』46(3)748-752
- 「『聖劑發蘊』の叙・自序について」久保田富也、久保田達也『漢方の臨床』46(1)168-174
- 「新発見「大同類聚方」に関する大同三年五月三日の詔文(抄)」後藤志朗『日本医史学雑誌』45(2)160-161
- 「最初期米国歯科医学雑誌の総括的研究(1)(抄)」塩津二郎、森山徳長、春日芳彦、亀谷博昭『日本歯科医史学会々誌』23(1)32-33
- 「『産家やしない草』考現代語訳及び注解」清水忠彦『近畿大

- 学医学雑誌』24(1)1-14
- 「華岡青洲自筆萬病一毒之説(抄)」高橋均『日本医史学雑誌』45(2)198-199
- 「田中彌性園蔵傷寒論の考証(抄)」田中祐尾『日本医史学雑誌』45(2)188-189
- 「山田業広著『金匱要略集注』訓読(13-15)」千葉古方漢方研究会『漢方の臨床』46(5,7,9)1104-1108, 1372-1376, 1578-1582
- 「島村鼎甫とウイリス、及びボードウインの『日講紀聞』明治初年の医学講義録」津下健哉『広島医学』52(2)196-200
- 「島村鼎甫とウイリス及びボードウインの『日講紀聞』(抄)」津下健哉『日本医史学雑誌』45(2)204-205
- 「新出の浅井氏「口訣」零本二種について 慶應義塾大学メディアセンター所蔵『素問口訣』『方彙口訣』残巻の報告」長野仁『漢方の臨床』46(12)1986-1990
- 「栗園浅田先生の詩集国会図書館所蔵の稿本について」長谷川弥人『漢方の臨床』46(12)1969-1974
- 「異本本草紙に就いて(抄)」林美朗、野嵯理『日本医史学雑誌』45(2)174-175
- 「手塚良斎『医学所御用留』(四)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』45(3)413-420
- 「宋以前の傷寒論について一朝鮮古医書「医方類聚」からの考察(抄)」牧角和宏『日本医史学雑誌』45(2)186-187
- 「目でみる漢方史料館(138) 呉秀三収集『医聖堂前哲帖』(1)

- 「多紀元簡・元堅一」町泉寿郎『漢方の臨床』46(11) 1792-1794
- 「目でみる漢方史料館 (139) 呉秀三収集『医聖堂前哲帖』(2) 一吉益東洞一」町泉寿郎『漢方の臨床』46(12)1920-1922
- 「『よしの冊子』医家関連記事 (二) (三)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』45(1,3)111-123, 435-448
- 「浅田宗伯の自筆稿本類一国会図書館鴉軒本 (抄)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』45(2)162-163
- 「『魯西亜牛痘全書』安政版の出版の経緯について」松木明知『日本医史学雑誌』45(3)401-412
- 「中川修亨の『麻薬考』の書誌学的研究一四種の写本の検討一」松木明知『日本医史学雑誌』45(4)585-599
- 「『類聚方広義』舛誤考 (中) (下)一同書を読むにあたって一」松本一男『漢方の臨床』46(1-2)175-187, 423-440
- 「金沢文庫の古医書2点について (抄)」真柳誠『神奈川医学会雑誌』26(1)178
- 「『扁鵲倉公列伝割解』と浅井氏」宮川浩也『漢方の臨床』46(9)1567-1577
- 「九華自筆の『扁鵲倉公列伝』(足利学校遺蹟図書館蔵)」宮川浩也『漢方の臨床』46(6)1152-1154
- 「高山歯科医学院に始まる東京歯科大学学則の分析的考察 (その5) 新制東京歯科大学学則 (1952) について (抄)」山岸東太郎、森山徳長、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』23(1)43-44

「小島原泰民著実地必携内科攬要について (第2報) (抄)」山口秀紀、渋谷鋤、渋谷幸男、村木春長、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』23(1)51

29 小児科史

- 「国際保健への応用を勘案した日本の乳児死亡の医学史的研究 (抄)」岡村恭子、村山伸子、長谷川敏彦『日本医史学雑誌』45(2)280-281
- 「小児の腸重積症：昔と今」梶本照穂『小児外科』31(5)441-443
- 「明治・大正・昭和前半期の小児の外科」梶本照穂『日本小児外科学会雑誌』35(1)1-10
- 「子育て今昔物語 育児書」加藤翠『チャイルドヘルス』2(5) 360-364
- 「子育て今昔物語 歩行器」加藤翠『チャイルドヘルス』2(6) 441-445
- 「子育て今昔物語 戦後迄の人工乳」加藤翠『チャイルドヘルス』2(7)525-529
- 「子育て今昔物語 戦後の人工乳の発展」加藤翠『チャイルドヘルス』2(8)595-598
- 「子育て今昔物語 離乳」加藤翠『チャイルドヘルス』2(9) 665-669
- 「全児研 (全国児童青年精神科医療施設協議会) 27年の歴史から見たわが国の児童青年精神科医療 (抄)」小西眞行、前山

和子、清水將之『児童青年精神医学とその近接領域』40
(1)85

「ハイリスク児の支援の実際 早期介入の歴史と方法」庄司
順一『小児科診療』62(2)181-185

「新生児死亡 新生児死亡の歴史的変遷」藤田利治『周産期
医学』29(12)1451-1457

「母子健康手帳の歴史とその役割」本多洋『チャイルドヘル
ス』2(6)428-432

「子どもの描画療法における歴史と将来の展望 日米の分権
的考察をふまえて」松本真理子『心理臨床学研究』17(2)
198-208

「健康と公正 日本における乳児死亡率の地域格差の要因に
関する歴史的研究(抄)」村山伸子、長谷川敏彦『日本衛生
学雑誌』54(1)319

30 神経学史

「ニューロサイエンスと私 管見：戦後日本の脳神経研究の
軌跡」内菌耕二『脳の科学』21(5)557-562

「パーキンソン病 歴史に登場するパーキンソン病」小長谷
正明『総合臨床』48(12)2765-2767

「辺縁系と不安 不安の生理的背景 不安の神経生物学 歴
史と展望」融道男『Clinical Neuroscience』17(7)738-741

31 診断学史

「断層映像研究会の歴史と役割(1)」木村和衛『断層映像研究
会雑誌』26(2)103-105

「内科医のためのCT CTの歴史と原理」関谷透『Medi-
cina』36(12)1752-1756

「消化管内視鏡を育てた人々 胃カメラの実用化」長廻紘
『クリニシアン』46(11-12)1091-1094

「消化管内視鏡を育てた人々 胃カメラはどのような時代に
出現したか 日本の胃鏡検査」長廻紘『クリニシアン』
46(10)960-964

「シャーロック・ホームズのモデル ジョゼフ・ベル教授と診
断学の周辺」深瀬泰旦『川崎市小児科医会誌』31,2-14

「環境とからだ 心電図学ノート 歴史と適応」矢永尚士
『Medical Postgraduates』37(1)15-18

32 整形外科史

「手の外科のよい看護のために 手の外科とは その歴史と
特殊性」石井清一『整形外科看護』4(11)1020-1022

「慈恵医大式セメントレス人工股関節 28年の歴史とこれか
らの展望(抄)」大谷卓也、藤井克之『東京慈恵医科大学雑
誌』114(4)197-198

「整形外科の歴史 19世紀中期から後期へ(5) アメリカ整形
外科(Orthopaedics Surgery)の誕生」蒲原宏『整形外科
看護』4(1)102-105

- 「整形外科の歴史 L'histoire de l'Orthopedie 19世紀中期から後期へ整形外科 (Orthopaedic Surgery) の誕生」蒲原宏『整形外科看護』4(2)192-195
- 「整形外科の歴史 19世紀中期から後期へアメリカ整形外科 (ボストン学派) の源流」蒲原宏『整形外科看護』4(3)298-301
- 「整形外科の歴史 20世紀中期から後期へアメリカ整形外科 (ボストン学派) の源流」蒲原宏『整形外科看護』4(4)412-414
- 「整形外科の歴史 19世紀中期から後期へアメリカ整形外科 (ニューヨーク学派) の源流」蒲原宏『整形外科看護』4(5)510-513
- 「整形外科の歴史 19世紀中期から後期へもう一つのニューヨーク学派」蒲原宏『整形外科看護』4(6)614-620
- 「整形外科の歴史 19世紀中期から後期へ第3のニューヨーク学派デービス (Henry Gasett Davis, 1807-1896) の仕事」蒲原宏『整形外科看護』4(7)724-726
- 「整形外科の歴史 19世紀中期から後期へ第3のニューヨーク学派 (2)」蒲原宏『整形外科看護』4(8)824-827
- 「整形外科の歴史 19世紀中期から後期へイギリスの整形外科」蒲原宏『整形外科看護』4(9)910-916
- 「整形外科の歴史 19世紀後期から20世紀初期へイギリスの整形外科 (2)」蒲原宏『整形外科看護』4(10)1006-1009
- 「整形外科の歴史 19世紀後期から20世紀初期へイギリ

スの整形外科 (3) ロバート・ジョーンズの仕事―」蒲原宏『整形外科看護』4(11)1098-1101

「整形外科の歴史 19世紀後期から20世紀初期へイギリスの整形外科 (4)―」蒲原宏『整形外科看護』4(12)1402-1406

「全置換型人工椎間板の開発と臨床応用への課題」小谷善久『骨・関節・靭帯』12(9)1147-1148

「明治期における下顎脱臼整復について (抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』23(1)38-39

「『正骨範』から見た江戸時代の整骨方法 (抄)」陶恵寧『日本医史学雑誌』45(2)284-285

「整形外科 philosophy 臨床研究に思う Pauwels から岡林篤まで」七川歆次『臨床整形外科』34(6)791-794

「シリーズ 脊椎日本史 池田宮内小輔忠雄の環軸椎」室捷之『東海脊椎外科』13,101-108

「『正骨範』をめぐる」山本徳子『医道の日本』58(2)165-170

33 精神医学史

「『脳神経衰弱症摂生法 附脳脊液説明摘要』」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(45)15-26

「一九九七年精神科医療史関連資料目録」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(45)34-36

「浦和脳病院広告」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』

- (46)22-23
「衛生局保健衛生調査室『各国ニ於ケル精神病者保護法並其ノ施設概要』(1)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(47)18-28
- 「葉の広告(静脳液、脳神経丸)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(47)29-31
- 「熊谷脳病院入院案内」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(45)28-30
- 「厚生省生科学研究所『家計調査要綱』」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(47)32-39
- 「精神病院の医師数等特例がきまるまで(日本医事新報)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(45)31-33
- 「精神病患者実験記事(第41-44例)(完結)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(45)9-14
- 「精神病による被殺者と自殺者」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(45)15-26
- 「早発痴呆～精神分裂病最初の100年(英文)」Adityanjee, Aderibigbe Yekeen A., Theodoridis D., Vieweg V. Victor R. 『Psychiatry and Clinical Neurosciences』53(4) 437-448
- 「日本神経学会規則ほか(1908年)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(46)17-21
- 「早尾虎雄「精神病治療の今昔」」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(46)24-31
- 「フォイヒテルスレーベン、大西直三郎『精神養生』(1)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(47)9-17
- 「ボードイン『内科新説』(神経系)より(1)(2)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(46,47)9-16, 1-8
- 「曲直瀬道三『醫學天正記』より(上)(下)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(45,46)1-8
- 「湊川病院80年のあゆみ(上)(中)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(46,47別冊)
- 「精神医学の100年 無意識の発見力動精神医学の誕生」内海健『こころの科学』(86)58-63
- 「精神医学の100年 ヒステリー概念の歴史」江口重幸『こころの科学』(86)64-69
- 「力動的精神療法への結節点 Charcot 神経病学における「心的治療」を中心に」江口重幸『精神医学史研究』2, 42-49
- 「色紙にみる森田哲学 11-18」大原健士郎『森田療法学会雑誌』10(2)177-192
- 「江戸期・明治期の精神科医療」岡田靖雄『臨床精神医学講座1』221-265
- 「狐憑き研究史補遺」岡田靖雄『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(45付録)
- 「精神医学の100年 日本における精神医学の100年」岡田靖雄『こころの科学』(86)87-91
- 「日本の精神科医療史ノート(1)～(6)」岡田靖雄『最新精神

- 医学』4(1-6)91-96, 195-200, 307-312, 407-412, 521-526, 615-619
- 「精神医学の100年 精神疾患治療の歴史」越野好文『こころの科学』(86)75-80
- 「精神医学の100年 精神医学の歩みクレペリン以後」景山任佐『こころの科学』(86)32-45
- 「古代ギリシャにおける *paranoia* *παρanoia* について (抄)」黒澤美枝、酒井明夫、大塚耕太郎、竹内克也『精神医学史研究』2,74
- 「江戸後期の精神障害者を疑われる人たちへの処遇について (抄)」桑原治雄、板原和子『精神医学史研究』2,67
- 「精神医学の100年 心因論の歴史的意味について」酒井明夫『こころの科学』(86)53-57
- 「性同一性障害 その概念と歴史的展望」澤田新一郎、山内俊雄『臨床精神医学』28(4)367-372
- 「アカシジア概念の成立と展開をめぐる」高林功『精神医学史研究』2,19-26
- 「ソーシャルワークと精神療法 一つの歴史」土居健郎『精神療法』25(2)123-125
- 「フランスにおける慢性妄想病の概念とその成立 (抄)」野崙理、鈴木國文『精神医学史研究』2,72
- 「精神医学の100年 精神医学の歩み クレペリン以前」濱田秀伯『こころの科学』(86)26-31
- 「幻覚概念の記述的精神病理学史；Felix Platter (1614/28)

の“hallucinatio”とその周辺 (抄)」濱中淑彦『精神医学史研究』2,73

- 「アヴィセンナ (イブン・シーナ) の「医学典範」(ラテン語訳)における精神医学 (第二回) (抄)」濱中淑彦『日本医史学雑誌』45(2)176-177
- 「江戸時代漢方医の精神病観」昼田源四郎『精神医学史研究』2,34-39
- 「精神医学の100年 精神病者と精神医学」松本雅彦『こころの科学』(86)109-114
- 「精神病 (分裂病) の治療史 日本の古代から現代まで 昭和20年代 (20世紀前半) 迄の補足」八木剛平、田辺英『臨床精神薬理』2(5)531-537
- 「精神病 (分裂病) の治療史 日本の古代から現代まで 大正時代の後半から昭和20年代まで (II)」八木剛平、田辺英『臨床精神薬理』2(4)417-423
- 「精神鑑定 その歴史的変遷と諸問題」山上皓『精神医学』41(10)1030-1042
- 「精神医学の100年 脳器質論の歴史 脳病説から生物学的精神医学へ」山口成良『こころの科学』(86)46-52
- 「精神疾患における双生児研究の歴史と今後の方向」米田博、横田伸吾『精神医学』41(8)802-809
- 35 西洋医学史
- 「スロバキア、ハンガリーおよびルーマニア (旧東欧) 医療文

「化史の旅①—②」石田純郎『医譚』(74)4371-4363, 4362-4357

「南蛮医学のルーツを求めて スペインの古い病院と大学、ポルトガルのミゼルコルディアを巡る旅」石田純郎『一滴』(7)49-85

「大選帝侯時代のベルリン医事、とくにブランデンブルク医事勅令について(抄)」泉彪之助『日本医史学雑誌』45(2)212-213

「パリの古い病院(抄)」今泉孝『日本医史学雑誌』45(2)208-209

「医学の歴史を訪ねて4 パリの医学校通り」大村敏郎『けんさ』28(3)21-24

「医学の歴史を訪ねて5 医学と文化の橋シュノンソー城」大村敏郎『けんさ』28(4)17-20

「医学の歴史を訪ねて6 聖コーム追憶」大村敏郎『けんさ』29(1)19-22

「医学の歴史を訪ねて7 サン・ドニ大聖堂と外科医デソー」大村敏郎『けんさ』29(2)19-22

「英国医史における学と職と一法制的考察(抄)」栗本宗治『日本医史学雑誌』45(2)214-215

「欧米における自然医学の歴史 ヒポクラテス医学」中島文保『マニピュレーション』14(1-4)92-98, 80-87, 102-108, 84-90

「パオロ・ザッキア「法医問答」にみる性別の判定(抄)」西

大條文一『日本医史学雑誌』45(2)304-305

「医学史探訪 学問の自由を標榜したパドヴァ大学」二宮陸雄『Nikkei Medical』(3)184-185

「ヨハンニティウス(フナイン・イブン・イスハク)の「ガレノスの小治療学入門」における non-naturals の概念(抄)」平尾真智子『日本医史学雑誌』45(2)216-217

「ヨーロッパの医薬①—③」山崎幹夫『ヒューマンサイエンス』10(1-3)1-2

36 生化学史

「日本における医学部生化学(医化学)の歩み(抄)」柴田幸雄『日本医史学雑誌』45(2)274-275

「HISTORY 赤血球の生化学 代謝とその異常」三輪史朗『BIO Clinica』14(10)924-928

37 生理学史

「『往生要集』に記載された生理学解剖学」上野陽里『医学史研究』(75)6-10

「新宮涼庭「血論」の研究(Ⅰ)―自筆草稿にみる翻訳過程―」クレインス・フレデリック『科学医学資料研究』(297)1-8

「レニンの発見とその後の展開(第1回)」笹栗学、荒川規矩男『BIO Clinica』14(6)565-569

「バルーでの高所医学研究(抄)」Monge Carlos『登山医学』18(1)1-4

- 「レニン発見後 100 年 レニン・アンジオテンシン系の歴史」
八木繁『Pharma Medica』17(6)161-178
「モンブランでの高所生理学の歴史 (抄)」Richalet Jean-
Paul『登山医学』18(1)6-9

38 地方史

- 「大野藩医 土田竜湾の手沢蘭書二部 フーヘランド 内科
必携 1841 年版 (抄)」岩治勇一『医譚』(74)58
「神奈川の医史跡 (横浜市を除く) (抄)」大滝紀雄『神奈川医
学会雑誌』26(2)367-369
「福岡の先賢医師 29 藩政時代、福岡地方 (福岡県) で人体解
剖に活躍した医師達」奥村武『福岡県医報』(1277)23-24
「福岡の先賢医師 30 百武萬里と死体解剖」奥村武『福岡県医
報』(1278)19-20
「福岡の先賢医師 31 西洋医師による解剖実習」奥村武『福岡
県医報』(1279)8-9
「福岡の先賢医師 32 解体新書を著した前野良沢は福岡藩出
身」奥村武『福岡県医報』(1280)17-18
「福岡の先賢医師 33 シーボルトの鳴瀧塾や緒方洪庵の適塾よ
りも早く、博多にあった蘭方医阪巻塾」奥村武『福岡県医
報』(1281)17-19
「福岡の先賢医師 34 南蛮医学より和蘭医学へ発展した医家阪
巻家と塚本家」奥村武『福岡県医報』(1282)13-15
「大阪の血液学 学燈の軌跡 (その 6)」木谷照夫『血液フロ
ンティア』9(7)836-839
「医葉史散歩・平戸市」末廣雅也『葉史学雑誌』34(2)112-118
「東海地方における幕末～維新期の医学と医人」高橋昭『全
国自治体病院協議会雑誌』(370)38-41
「熊本藩における華岡流医師の動向」竹下喜久男『鷹陵史学』
(25)257-274
「都筑の医史を掘る (抄)」中西淳朗『神奈川医学会雑誌』26
(2)366
「横浜と痘瘡 (抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』45(3)471-472
「戦前の京都・岩倉村における一保養所の「宿泊者」の動向に
ついて 同時期のゲールとの比較という視点から」橋本
明、山本明弘、遠矢福子『日本社会精神医学会雑誌』8(1)
15-23
「戦前の京都・岩倉村における一保養所の「宿泊者」の動向に
ついて (抄)」橋本明、山本明弘、遠矢福子『日本社会精神
医学会雑誌』8(1)74
「北陸地方における天狗爪石の記録 (続編)」正橋剛二『北陸
医史』20(1)67-79
「北海道公衆衛生 50 年の軌跡と展望」三宅浩次『北海道公衆
衛生学雑誌』12(2)91-98
「信州における労働衛生史 (抄)」村山忍三『産業衛生学雑誌』
41(2)38

39 治療史

- 「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析膜/透析器 ダイアライザ開発の到達点」青池郁夫、鈴木正司『臨床透析』15(1)45-51
- 「治療の歴史 心筋梗塞の再発予防」青木和浩、葛谷恒彦、堀正二『治療学』33(10)1139-1143
- 「レーザー治療器の歴史と展望」荒井恒憲『日本レーザー医学会誌』20(3)255
- 「緩和医療の現状と歴史的背景 (抄)」飯沼宗和『日本薬学会119年会講演要旨集』(4)210
- 「治療薬誕生秘話 Ritanserin から risperidone へ SDA 創出の歴史」石郷岡純『臨床精神薬理』2(5)521-525
- 「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析方法の変法 HDF, push & pull HDF, on-line HDF, AFBF」石田尚志、新井篤史、倉橋明男、漆谷義徳、並河整、福庭洋、福田勇司、井原恵子、坂本祐子、田中昭彦、大森浩之『臨床透析』15(1)67-74
- 「治療の歴史 免疫抑制薬」井上哲文『治療学』33(2)235-239
- 「不整脈治療・基礎から臨床まで 不整脈外科黎明期の頃」岩喬『循環科学』19(2)98-101
- 「同種骨移植の現状 日本における同種骨移植のあゆみ 諸外国との比較」岩本幸英『骨・関節・靭帯』12(3)251-258
- 「当院における抗菌剤の使用の歴史と現状について (抄)」上島悦子、門脇裕子、澤田昌良、山本克己、大石雅子、黒川

信夫『臨床薬理』30(1)345-346

- 「日本史・空想診療録—浅野内匠頭長矩」卜部典子『医道の日本』58(2)104-106
- 「日本史・空想診療録—伊達綱宗」卜部典子『医道の日本』58(11)202-203
- 「日本史・空想診療録—徳川家光」卜部典子『医道の日本』58(9)184-188
- 「日本史・空想診療録—柳生宗矩」卜部典子『医道の日本』58(8)182-183
- 「医療と音楽 音楽の歴史と医療」海老澤敏『日本医師会雑誌』122(6)1161-1163
- 「がん放射線治療の新方向 ラジウム研究とラジウム治療 その歴史的意義」尾内能夫『癌の臨床』45(2)91-95
- 「20世紀の癌治療の変遷 癌治療の進歩と25年 癌・放射線療法の変遷」大川智彦『癌と化学療法』26(Suppl. I)15-22
- 「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析液 糖・アルカリ化剤」小沢潔『臨床透析』15(1)39-44
- 「血液浄化機器の歴史と今後の発展 水処理 微量元素など」川富正弘『臨床透析』15(1)17-23
- 「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析液 カルシウム・ナトリウム」川西秀樹『臨床透析』15(1)31-37
- 「日本の難病 30年史患者会活動への参加と協力 木下個人史 (4)」木下安子『難病と在宅ケア』5(3)60-61

「喘息治療薬開発の歴史 (1)、(2)」木村統治『喘息』12(1,2) 124-139, 91-109

「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析膜/透析器 ハイブリッド・メンブレンはどこまで可能か？」斎藤明『臨床透析』15(1)53-58

「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析方法の変法 アフエレシス」佐藤隆、古賀伸彦『臨床透析』15(1)93-100

「降圧薬療法の変遷 利尿薬：歴史的役割と現状での評価」猿田亮男『血圧』6(5)460-463

「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析液供給装置・監視装置 未来に向けて透析装置の小型化はどこまで可能か？」芝本隆、秋葉隆『臨床透析』15(1)59-65

「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析方法の変法 DHP (直接血液灌流吸着) と免疫吸着」東海林隆男『臨床透析』15(1)87-92

「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析看護の今後の発展」水附裕子『臨床透析』15(1)111-116

「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析方法の変法 腹膜透析 IPD から CAPD, APD」鈴木一之『臨床透析』15(1)101-110

「プラセボ再考 プラセボ効果のフィクション&ファクト プラセボの歴史」高野晴成、八木剛平『臨床精神薬理』2(2)115-119

「スウェーデンにおける痴呆性老人グループホームの歴史的

変遷と今後の課題 (抄)」高橋正彦、Annerstedt Lena、Gustafon Lars、真田順子、井上新平『老年精神医学雑誌』10(6)737

「血液浄化機器の歴史と今後の発展 水処理 エンドトキシン」竹沢真吾『臨床透析』15(1)25-30

「日本における子宮頸癌に対する放射線治療の歴史的展開」田崎瑛生『日本放射線腫瘍学会誌』11(3)157-173

「遺伝子治療の基礎と臨床 遺伝子治療の歴史とその現状」谷憲三朗『組織培養工学』25(11)424-425

「がんの粒子線治療の現状 粒子線治療の歴史と展望」辻井博彦『Biotherapy』13(3)240-245

「輸血の発展に大きな影響を与えた幾つかの事件 (出来事) について 古い時代の輸血」遠山博『血液フロンティア』9(10)1166-1168

「輸血の発展に大きな影響を与えた幾つかの事件 (出来事) について 17世紀の輸血 特に子羊血の人体に対する輸血事件」遠山博『血液フロンティア』9(11)1274-1276

「輸血の発展に大きな影響を与えた幾つかの事件 (出来事) について 19世紀の輸血・特に人血輸血の第1例」遠山博『血液フロンティア』9(12)1394-1397

「輸血の発展に大きな影響を与えた幾つかの事件 (出来事) について 20世紀の輸血 血液型の発見とLandsteinerの生涯」遠山博『血液フロンティア』10(1)86-88

「神宮医久志本氏とその秘方 (抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』

- 誌』45(2)172-173
- 「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析方法の変法 持続的療法」奈倉勇爾、久野勉『臨床透析』15(1)75-80
- 「内視・体腔鏡治療の進歩 Overview 内視・体腔鏡の歴史と今後 (抄)」野垣譲治『日大医学雑誌』58(1)25-26
- 「治療の歴史 慢性関節リウマチのリハビリテーション」橋本明『治療学』33(8)903-907
- 「治療の歴史 レニン・アンジオテンシン系抑制薬の変遷」日和田邦男『治療学』33(1)113-117
- 「ルイの「肺炎に対する瀉血の効果」について (抄)」藤倉一郎『日本医史学雑誌』45(2)244-245
- 「血液浄化機器の歴史と今後の発展 透析方法の変法 抗凝固剤を使用しない体外循環」藤森明、内藤秀宗『臨床透析』15(1)81-85
- 「治療の歴史 血管塞栓物質」堀信一、大須賀慶悟、江口信子、粟井和夫『治療学』33(11)1255-1258
- 「透析の30年の歴史と我々に残された今後の問題」前田憲志、渡邊有三『日本透析医会雑誌』14(3)31-37
- 「血液浄化機器の歴史と今後の発展 総論」前田貞亮『臨床透析』15(1)7-15
- 「治療の歴史 消化管運動改善薬の歴史の変遷 薬理学的側面からの考察」蒔本憲明、谷山紘太郎『治療学』33(4)465-468
- 「進みゆく白血病の診療 ここまで進んだ白血病の治療 急

- 性白血病の治療概念と歴史の変遷」三浦亮『内科』84(3)451-453
- 「血管インターベンション治療の展開 インターベンション治療の意義と歴史」光藤和明『Clinical Engineering』10(8)733-739
- 「移植医療 臓器移植の歴史」水戸勉郎、澤雅之『北海道医報』(921)4-6
- 「治療の歴史 脳梗塞の血栓溶解療法」森悦朗『治療学』33(5)597-600
- 「これから森田療法がめざすもの 森田療法の歴史性・普遍性・現代性」森山成あきら『森田療法学会雑誌』10(1)43-49
- 「H. pylori 除菌治療序論 H. pylori 除菌治療進歩の歴史的沿革と除菌率の向上」山本一成、福田能啓、下山孝『日本臨床』57(1)32-42
- 「催眠療法の歴史的考察と現代的意義 (抄)」渡辺直樹『神奈川医学会雑誌』26(2)373
- 40 伝 記
- 「足利尊氏の歯 (抄)」新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』23(1)28
- 「足立文太郎のひとと業績について (抄)」本宮かをる、オルリー・レジス『日本医史学雑誌』45(2)270-271
- 「医学史探訪 神経衰弱に苦しんだ「童話の王様」ハンス・ク

- リスチャン・アンデルセン」二宮陸雄『Nikkei Medical』(4)156-158
- 「安藤昌益：東北の精神科医 (1) (抄)」浅野弘毅、近藤等『精神医学史研究』2,66
- 「伊沢蘭軒の遺墨」町泉寿郎『漢方の臨床』46(3)759-772
- 「祖父梅次郎の盟友、石塚三郎の事跡 (抄)」佐藤泰彦『日本歯科医史学会々誌』23(1)47-48
- 「西洋歯科医の草分け・一井正典」一特に帰国当時の米国歯科協会の状況について(抄)」松本晋一、渋谷敦『日本歯科医史学会々誌』23(1)20
- 「伊藤圭介の医学と博物学」遠藤正治『名古屋医史談話会会報』(24)1-8
- 「今田見信先生を語る(その1)―10代の頃の今田先生―(抄)」加來洋子、渋谷幸男、渋谷敏、谷津三雄、三浦裕士『日本歯科医史学会々誌』23(1)54-55
- 「今田見信先生を語る(その3)―今田歯科医院と口腔衛生―(抄)」石橋肇、村木春長、渋谷幸男、谷津三雄、三浦裕士『日本歯科医史学会々誌』23(1)57
- 「今田見信先生を語る(その2)―今田先生の卒業アルバムから―(抄)」宮本康子、渋谷幸男、渋谷敏、谷津三雄、三浦裕士『日本歯科医史学会々誌』23(1)56
- 「九州における医史学研究の系譜(一) 岩熊哲の業績とその医史学観について(抄)」佐藤裕『日本医史学雑誌』45(2)218-219
- 「『ウィリアム・ウイルス文書』にみる W・ウイルスの医学教育(抄)」小宮山道夫『日本医史学雑誌』45(2)206-207
- 「中国歴代の名医肖像伝記 呉 又可(ウーヨウクー)」『漢方医薬新聞』(256)6
- 「中国歴代の名医肖像伝記 危 亦林(ウエイイーリン)」『漢方医薬新聞』(257)6
- 「日本の脳研究者たち 植木幸明」田中隆一『Brain Medical』11(1)98-102
- 「人と時代解剖学の父 アンドレアス・ヴェサリウス―その生涯と業績その一―」坂井建雄『ミクروسコピア』16(4)266-272
- 「医学史探訪 エイントホーフェンの心電計を実用化したダーウィンの息子」二宮陸雄『Nikkei Medical』(1)144-145
- 「幕末維新を生きた女性の生涯・人脈・事件 榎本武揚の妻 榎本多津」榎本隆充『歴史読本』44(11)44-51
- 「江間虚白堂の詩と詞について」高瀬允『北陸医史』20(1)4-8
- 「サンフランシスコの歯科医の日記(1864-65)(その1) エルメンドルフの生い立ちと同市の歯科医の開業状況およびそれらの社会的背景」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』23(1)72-79
- 「サンフランシスコの歯科医の日記(1864-65)(その2) エルメンドルフの開業、経営不振による閉院、代診、再開院とその後」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』23(1)80-86

- 「近代鍼・灸・マッサージの父 奥村三策の生涯と偉業 (1)」
松井繁『医道の日本』58(3)117-123
- 「GHQ 看護課長オルトの実像を求めて」大石杉乃『Quality Nursing』5(9)49
- 「外科医と血液学 近代血液凝固学の夜明け 加藤勝治先生の思い出」神前五郎『血液フロンティア』9(4)434-437
- 「金子準二―断種史上の人びと (その二)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』45(3)469-471
- 「先達医家の肖像 <85> 北里柴三郎 (1853~1931)」酒井シヅ『Medical Digest』48(361)巻末
- 「北里柴三郎のテキストについて」月澤美代子『哲学書房北里柴三郎/中村桂子・北里柴三郎破傷風菌。能動知性 I 生の場』253-256
- 「九華筆「扁鵲倉公列伝」について」宮川浩也『日本医史学雑誌』45(2)252-253
- 「古代インドの医学と密教 空海のミステリー」佐藤任『医学史研究』(74)572-574
- 「医学史探訪 アイルランドの内科医グレーヴズの臨床講義」二宮陸雄『Nikkei Medical』(5)170-171
- 「黒川自然翁の顕彰記念碑建立に関する資料」寺畑喜朔『北陸医史』20(1)56-66
- 「桑田立齊『立斎年表』」二宮陸雄、秋葉寶『日本医史学雑誌』45(1)85-98
- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ゲーテと女性たち (2)」上

- 野賢一『皮膚科の臨床』41(8)1317-1320
- 「神経解剖学者上坂熊勝に関する史料」寺畑喜朔『医譚』(74)11-25
- 「孝明天皇の御病状について」杉立義一『漢方の臨床』46(2)405-414
- 「清医胡桃新の『胡氏方案』について (抄)」郭秀梅、岡田研吉『日本医史学雑誌』45(2)164-165
- 「Domenico Cotugno (Cotunnus) (1736-1822)」酒井シヅ『Clinical Neuroscience』17(11)1292
- 「循環器疾患研究を支えた人々 小林太刀夫」安田寿一『Cardiac Practice』10(3)365-367
- 「古典あれこれ コルティ器にその名を残したアルフォンソ・コルティ公爵の生涯と仕事」犬山征夫『JOHNS』15(8)1214-1222
- 「佐伯理一郎と京都 (十)『京都看病婦学校五十年史』とその周辺」長門谷洋治『啓迪』(17)31-38
- 「日本の脳研究者たち第28回 榊俣 1857-1897」岡田靖雄『Brain Medical』11(2)198-201
- 「ドイツ医学採用に貢献した相良知安」篠田達明『名古屋医史談話会会報』(25)1-5
- 「『ベルギー王立植物学会会誌』にみるサヴァチェ」竹中祐典『科学医学資料研究』(298)1-4
- 「Samuel G. Supplee の歯科補綴学への貢献について (抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』23(1)49-50

- 「古典あれこれ シーボルトをめぐる」廣瀬肇『JOHNS』15(1)134-138
- 「西洋医学発祥の地 長崎 シーボルトの来日と日本における西洋近代医学の誕生(抄)」宮坂正英『日本消化器病学会雑誌』96(臨増)A2
- 「養生の町・江戸とシーボルト」永井芳和『鍼灸 OSAKA』15(2)172-173
- 「シーボルト事件判決時の法的根拠」中西啓『鳴滝紀要』(9)1-9
- 「先達医家の肖像 <83> Sophia Jex-Blake (1840-1912)」酒井シヅ『Medical Digest』(359)巻末
- 「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(10) 血液の栄養的価値についての実験」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(68)3
- 「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(11) 人痘種痘法をのりこえる」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(70)3
- 「医学の散歩道「ジェンナーを訪ねて」(12) 牛痘種痘法の勝利」深瀬泰旦『婦長主任新事情』(72)3
- 「石川県出身清水賢末博士の功績と伝記」多留淳文『北陸医史』20(1)53-55
- 「Charcot と神経(精神医)学 最新版伝記から(抄)」高内茂、守田嘉男『精神医学史研究』2,71-72
- 「中国歴代の名医肖像伝記 江瓘(ジャングアン)」『漢方医薬新聞』(248)5
- 「古典あれこれ ローベルト・シューマンの生涯と病気の真

相をめぐる混乱について」犬山征夫『JOHNS』15(7)1084-1091

- 「杉田玄白は「和蘭全軀内外分合図」の事を知っていたか」岩治勇一『北陸医史』20(1)31-33
- 「九州における近代整形外科学の祖、住田正雄の生涯(抄)」小林晶、長門谷洋治『日本医史学雑誌』45(2)224-225
- 「九州における近代整形外科の祖、住田正雄(一八七八—一九四六)の生涯」小林晶『日本医史学雑誌』45(4)563-584
- 「ゼンメルワイス(3-5)母性の救世主一産褥熱に一生を捧げた男一」熊坂高弘『いずみ』46(3,4,9)20-21, 20-21, 18-20
- 「古典あれこれ 解剖学者としてのレオナルド・ダ・ヴィンチ 頭部の解剖学的研究を中心として」犬山征夫『JOHNS』15(5)810-816
- 「高安右人一病名に名前を残した先達」河崎一夫『いずみ』46(10)18-19
- 「高安右人一病名に名前を残した先達 Takayasu's disease first reported in J. Juzen Med. Soc. in 1908」河崎一夫『金沢大学十全医学会雑誌』108(2)149
- 「多紀元堅の傷寒論講義(3-11)(存誠塾傷寒論記聞)」岡利幸『漢方の臨床』46(3,5-12)753-758, 1098-1103, 1213-1218, 1366-1371, 1487-1492, 1606-1611, 1747-1752, 1862-1866, 1991-1996
- 「追悼 ユニークな宮崎地方の医療史を編纂した田代逸郎先生」木下和夫『日本医史学雑誌』45(1)125-126

- 「レオナルド・ダ・ヴィンチ「女子解剖図」への新解釈 (抄)」
永田和弘『日本歯科医史学会々誌』23(1)62
- 「田原結節の発見者 田原淳 補遺」富田達男『日本医史学雑誌』45(4)503-514
- 「『後法興院記』に表れた丹波親康の事跡について (抄)」戸出一郎『日本医史学雑誌』45(2)168-169
- 「丹波親康と「月次和漢会」(抄)」戸出一郎、佐藤恭道、別部智司、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』23(1)22
- 「近代衛生政策の起源 E. チャドウィックの「衛生思想」をめぐって」野島直子『医学史研究』(74)565-571
- 「中国歴代の名医肖像伝記 朱橚 (ツースー)」『漢方医薬新聞』(258)5
- 「暉峻義等と医史学研究一奨進医会にかかわっていた人— (抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』45(2)268-269
- 「古典あれこれ 世界最初の聾学校を創設したド・レバ神父の生涯」犬山征夫『JOHNS』15(4)678-684
- 「日本に牛痘種痘法を最初に伝えた中川五郎治の数奇な一生 (抄)」松木明知『弘前医学』50(4)254
- 「中川五郎次の事蹟」河野常吉『北辰』(2)24-30
- 「中川五郎次の晩年」谷澤尚一『北辰』(2)3-12
- 「永富独嘯庵の医術と臨床」安井広迪『漢方の臨床』46(3)577-610
- 「中西深斎の遺墨」町泉寿郎『漢方の臨床』46(5)1109-1114
- 「興亜医学館の歴史と開設者野方次郎伝」古川明『日本医事

- 新報』(3906)55-62
- 「紐育州シャンデーケン在、旧野口英世博士別荘と東京歯科大学 (その1) 建築当時のいきさつ (抄)」森山徳長、柳澤孝彰、高江洲義矩、石川達也、吉峯規雄、堂信一、堀内實『日本歯科医史学会々誌』23(1)58-59
- 「紐育州シャンデーケン在、旧野口英世博士別荘と東京歯科大学 (その2) 東京歯科大学による購入と現状 (抄)」吉峯規雄、堂信一、森山徳長、柳澤孝彰、石川達也、高江洲義矩、堀内實『日本歯科医史学会々誌』23(1)60-61
- 「江戸期本草家の北陸への関心 (三) —野呂元丈の越中国での足跡— (抄)」正橋剛二『日本医史学雑誌』45(2)256-257
- 「医学史探訪 メディア界に君臨した恋多き男ランドルフ・ハースト」二宮陸雄『Nikkei Medical』(2)122-124
- 「Lafcadio Hearnに認められた異常心理と自己治療 百年後の日本からの視点」遠藤みどり『精神医学』41(3)283-292
- 「地蔵寺過去帳による華岡青洲の系譜に関する新知見」松木明知『日本医史学雑誌』45(1)45-76
- 「華岡青洲の系譜に関する新知見—海南省の柳川家と川端家— (抄)」松木明知『日本医史学雑誌』45(2)196-197
- 「大阪女子高等医学専門学校 (現関西医科大学) 創立の功労者・濱地藤太郎」長門谷洋治『北陸医史』20(1)44-52
- 「祖父・原玄一郎の思い出—前編：経歴を中心に—」原一郎『医学史研究』(75)593-599

- 「男装の英国陸軍女医ジェイムズ・バリ (抄)」柳澤波香『日本医史学雑誌』45(2)288-289
- 「先達医家の肖像 <87> Hippocrates (前 460~370/357?)」酒井シヅ『Medical Digest』(363)巻末
- 「ヒポクラテスは今時代に甦るか (第III報)」佐藤素一、石橋正敏、辻正宣『耳鼻咽喉科展望』42(補冊)143-148
- 「平澤興先生その資料二、三」白崎昭一郎『北陸医史』20(1)40-43
- 「ウィーンに故ビルロート教授を訪ねて」岸川博隆、近藤薫、川村弘之、葛島達也、小西滋『名古屋市立病院紀要』21(1)89-92
- 「先達医家の肖像 <86> Richard Friedrich Johannes Pfeiffer (1858~1945)」酒井シヅ『Medical Digest』(362)巻末
- 「古典あれこれ 福澤諭吉と医学—第1部、第2部—」犬山征夫『JOHNS』15(11,12)1772-1778, 1920-1925
- 「扶氏医戒之略についての考察」高木卓爾『名古屋市立病院紀要』21(1)127-131
- 「先達医家の肖像<84>Girolamo Fracastoro(1478頃~1553)」酒井シヅ『Medical Digest』(360)巻末
- 「フランクリンと医学」古川明『杉並区医師会雑誌』(9)158-162
- 「Jan Evangelista Purkyne の生涯と業績 (抄)」高橋昭『日本医史学雑誌』45(2)182-183
- 「プレック (J.J.E. von Plenck, 1739-1807) について (抄)」

- 石田純郎『日本医史学雑誌』45(2)242-243
- 「オランダ人医師ファン・デル・ヘーデンと子孫・縁者たち (抄)」蒲原宏『日本医史学雑誌』45(2)202-203
- 「生誕 150 周年を迎えたベルツ博士と日本」酒井シヅ『Die Brucke かけはし』(520)1
- 「クロード・ベルナルを問う 現代医学を問う (第41回)」瀬江千史『総合看護』34(3)39-47
- 「多発性骨髄腫とその周辺疾患 Henry Bence Jones (1813-73) 時代とひと」加納正『血液フロンティア』9(2)121-126
- 「明治時代のハンセン病患者の写真 先覚者増田勇の業績」菊地一郎『西日本皮膚科』61(5)703
- 「松山棟庵と成医会 慈恵医大の源流を探る」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』114(2)89-107
- 「曲直瀬道三の前半期の医学 (一) —「当流」の意義—」遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』45(3)323-338
- 「循環器疾患研究を支えた人々 曲直部壽夫」川島康生『Cardiac Practice』10(2)221-223
- 「三浦梅園の医学体系の存立基盤『玄語』所収「混糅気体」論の解明」近藤均『旭川医科大学紀要』(20)9-29
- 「日本人の英語論文を育てた溝口歌子の生涯その三 日米科学協力のかけ橋」藤崎千代子『ミクروسコピア』16(1)13-18
- 「日本人の英語論文を育てた溝口歌子の生涯 その四」藤崎千代子『ミクロスコピア』16(2)108-113

- 「箕作麟祥とフランス法学」小笠原幹夫『一滴』(7)113-121
- 「中国歴代の名医肖像伝記 繆希雍(ミャオシーヨン)」『漢方医薬新聞』(252)6
- 「医史史料 無菌動物 宮川正澄先生の挑戦」名倉宏『現代医学』46(3)487-491
- 「三輪東朔の生没年の確定(抄)」友部和弘、町泉寿郎、小曾戸洋『日本東洋医学雑誌』49(6)95
- 「ヘンリー・モーズレーとヴィクトリア朝後期の精神医学」SCULL, Andrew『科学医学資料研究』(296)1-16
- 「目でみる漢方史料館(137) 桃井安貞の腹診書」町泉寿郎『漢方の臨床』46(10)1664-1666
- 「森鷗外と牛乳」春田三佐夫『日本獣医史学雑誌』(36)52-53
- 「郡医と鷗外の父、森静男について(抄)」木村繁『日本医史学雑誌』45(2)222-223
- 「山形敏一先生追悼」石井厚『日本医史学雑誌』45(3)459-460
- 「山田謙治(謙次)医学士について」赤祖父一知『北陸医史』20(1)9-23
- 「放射能研究に殉じた山田延男の生涯(第2報)ーラジウム発見100年に因んでー」山田光男『薬史学雑誌』34(1)29-35
- 「目でみる漢方史料館(134) 山脇東洋尺牘(山県周南宛)」町泉寿郎『漢方の臨床』46(7)1296-1298
- 「中国歴代の名医肖像伝記 楊介(ヤンジェ)」『漢方医薬新聞』(247)5
- 「J.L. ヤンソン先生来日115年記念：史料の補充と供覧」坂

- 本勇『日本獣医史学雑誌』(36)53-54
- 「熊宗立伝一判明した生没年(抄)」小曾戸洋『日本医史学雑誌』45(2)298-299
- 「柚木常盤と冬虫夏草と京都療病院」奥沢康正『啓迪』(17)14-22
- 「阿蘭陀通詞吉雄幸左衛門耕牛(1) 一祖父寿山と父藤三郎一」片桐一男『洋学史研究』(16)1-25
- 「漢方の常識を見直す 吉益東洞という漢方家」秋葉哲生『診断と治療』87(6)1039-1042
- 「微生物の世界 レーベンフック その生涯と彼の顕微鏡 その生涯」天児和暢『総合臨床』48(11)2678-2682
- 「微生物の世界 レーベンフック その生涯と彼の顕微鏡 レーベンフックの顕微鏡」天児和暢『総合臨床』48(12)2889-2896
- 「ウイルヘルム・コンラッド・レントゲンドイツの偉大な科学者の生涯とその科学業績」Busch Uwe『日本放射線技師会雑誌』46(1)29-43
- 「医のころろ 和田東郭の医学」松田邦夫『日本東洋医学雑誌』50(1)1-10
- 「医のころろー和田東郭の医学」松田邦夫『漢方医薬新聞』(251)2
- 「先達医家の肖像<82> August Paul von Wassermann (1866-1925)」酒井シヅ『Medical Digest』(358)巻末

41 伝記 (双)

「京都の医師・味岡三伯と安藤昌益—新史料(儒道統之図)の考証と解釈」和田耕作『PHN 思想・人間・自然』(8)2-24
 「三位法眼糟尾家と録事法眼智玄(抄)」石原力『日本医史学雑誌』45(2)234-235

「亀井南冥と村井琴山」木下勤『漢方の臨床』46(6)1195-1204
 「ブンデンシュタイン家文書より発見された楠本タキ、イネ母子に関する断簡について」宮坂正英『鳴滝紀要』(9)40-51

「フォン・シーボルトとオランダ商館長デ・ステュルレル」栗原福也『一滴』(7)1-25

「家紋からみた杉田玄白の遠祖」中西淳朗『日本医史学雑誌』45(3)467-468

「『日だまりの樹』を読む：手塚家のルーツと『日だまりの樹』」深瀬泰旦『小学館小学館文庫神様手塚を読む』126-133

「インスリンの発見—バンティング、ベスト、マクラウド、コリップ」月澤美代子『科学技術ジャーナル』8(3)40-41

「曲直瀬道三と多紀元憲の養生歌(抄)」町泉寿郎『日本東洋医学雑誌』49(6)95

「初代養寿院山脇玄心とその門人たちの伝記に関する新知見」八木淳夫『啓迪』(17)1-13

「初代山脇道作と門人達の伝記に関する新資料(抄)」八木淳夫『日本医史学雑誌』45(2)232-233

42 伝染病史・防疫史

「検疫制度の導入と英国「伝染病予防法」—国権問題と日本人医師の養成—(抄)」大川由美『日本医史学雑誌』45(2)192-193

「医療と歴史との接点を求めて 結核を巡って」大村敏郎『医薬の門』39(3)142-145

「新興・再興感染症 マラリア」狩野繁之『カレントテラピー』17(2)335-338

「医療現場における感染防止対策 院内感染防止医学の歴史」川名林治『臨床と微生物』26(4)355-358

「癩疾への漢方医学の対応についてのノート(後篇) —小笠原登氏の著作と学説を中心として」杉山広重『漢方の臨床』46(6)1219-1241

「ペスト残影シリーズ その9 ケルンに「ペスト残影」を求めて(抄)」滝上正『神奈川医学会雑誌』26(2)366-367

「ペスト残影地誌学(二ノ一)」滝上正『科学医学資料研究』(298)5-9

「インフルエンザの全て—ワクチンから治療まで インフルエンザの歴史と今シーズンの流行」中島節子『感染と抗菌薬』2(4)349-353

「リバプール熱帯医学校(Liverpool School of Tropical Medicine, LSTM) 100年：20世紀における熱帯医学の始まり」春木宏介『熱帯』32,168-175

「『公文録』にみる土屋寛信の沖繩派遣(抄)」深瀬泰旦『日本

『医史学雑誌』45(2)300-301

「明治一二年沖繩県のコレラ流行と土屋寛信」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』45(3)373-400

「臨床疫学の歴史と現状」福井次矢『JIM』9(8)735-739

「抗 Dengue ワクチン 歴史と展望」堀田進『日本熱帯医学会雑誌』27(3)397-415

「中国における梅毒の病名史(抄)」梁永宣『日本医史学雑誌』45(2)194-195

43 東洋医学史・伝統医学史

「『傷寒論柯則』に寄せた浅田宗伯の序文について」秋葉哲生『漢方の臨床』46(2)396-399

「漢方の常識を見直す 明治の医制と漢方医学」秋葉哲生『診断と治療』87(7)1261-1264

「韓医学の歴史(抄)」奇昌徳『日本医史学雑誌』45(2)158-159

「科学史から見た鍼灸の意義(抄)」栗山茂久『全日本鍼灸学会雑誌』49(1)129

「【中国医学源流への彷徨】1. 陰陽と五行」小高修司『漢方の臨床』46(9)1583-1595

「朝鮮前期の疫病流行に関して(抄)」權卜撥、黄尚翼『日本医史学雑誌』45(2)306-307

「源流 第三の医療—代替・相補・伝統医療連合会議について」酒井シヅ『東洋医学』27(8)11

「『灸炳塩土伝』の意義(抄)」篠原孝市『日本医史学雑誌』45

(2)264-265

「岡本一抱子著「方意弁義」の釈義(「後世方」の五門の薬方に関するノート) 杉山広重『漢方の臨床』46(3)648-667

「韓国における宣教医(第一報)(抄)」高安伸子『日本医史学雑誌』45(2)310-311

「近代日本の対中医療・文化活動—同仁会研究(一)—」丁蕾『日本医史学雑誌』45(4)543-562

「わが国の近世初期の医療についての一考察 一、古写本鍼灸秘書(抄)」戸田静男、亀節子『日本医史学雑誌』45(2)166-167

「『痧脹玉衝』所蔵治験例の分析(抄)」友部和弘『日本医史学雑誌』45(2)262-263

「ここまで分かった灸の科学 明治前日本灸療史再考(抄)」長野仁『全日本鍼灸学会雑誌』49(1)152-153

「日本鍼灸小史 近世『内経』研究小史 曲直瀬玄朔の『素問聴書』と『難経抄』」長野仁『鍼灸 OSAKA』15(1)71-75

「日本鍼灸小史「灸箸」考」長野仁『鍼灸 OSAKA』15(2)103-107

「奥田謙蔵を基本とする漢方総論の構築」中村謙介『漢方の臨床』46(2)373-381

「吉益東洞十二家方について」中村成代『漢方の臨床』46(2)382-395

「老医のメモ帳(その50) 養生訓(29)(抄)」増田義哉『眼科臨床医報』93(1)137

- 「近代中国伝統医学と日本一民国時代における日本医書の影響」真柳誠『漢方の臨床』46(12)1928-1944
- 「目でみる漢方史料館 (131) 北京図書館蔵・多紀元堅ら手沢の古医籍 (3)」真柳誠『漢方の臨床』46(4)824-826
- 「目でみる漢方史料館 (135) 北京図書館所蔵の日本旧蔵『三因方』影宋本」真柳誠『漢方の臨床』46(8)1416-1418
- 「目でみる漢方史料館 (136) 現存最古の『素問』、北京図書館蔵の金版」真柳誠『漢方の臨床』46(9)1536-1538
- 「行われなかった正月儀礼 (抄)」水谷惟紗久『日本医史学雑誌』45(2)228-229
- 「大同の世 2 中国古代・三皇五帝」宮田正則『医道の日本』58(1)188-195
- 「幻の巫師治療 3 歴史の迷宮・夏王朝③」宮田正則『医道の日本』58(9)121-127
- 「中国伝統医学と道教 (第二〇回) 籤 (抄)」吉元昭治『日本医史学雑誌』45(2)184-185
- 「戴天章の温病腹診研究 (抄)」梁嶸『日本医史学雑誌』45(2)260-261
- 「古代中国における按摩療法の発生と発展 (抄)」和久田哲司、和田恒彦『日本東洋医学雑誌』49(6)96
- 「中国古代における一般的医学観について (抄)」和田裕一『日本医史学雑誌』45(2)294-295
- 「『金匱要略』水気病篇の「痲癩」について (抄)」渡辺賢治、花輪壽彦『日本医史学雑誌』45(2)190-191

44 内 科 史

- 「ビタミンKと骨 ビタミンKの歴史」朝倉栄策、御館雄雄、松田保『Clinical Calcium』9(7)820-824
- 「検査の変遷と将来展望 血液形態検査の変遷と展望 白血病の概念と分類」阿南建一『医学検査』48(2)115-122
- 「免疫のしくみ 歴史及び弱点」伊藤勇市『市立釧路総合病院医学雑誌』11(1)3-14
- 「ビタミンB12と貧血・その歴史の流れ」奥田邦雄『ビタミン』73(5-6)297-302
- 「動脈硬化 Risk Factor Syndrome を複合的に捉える Multiple risk factor syndrome の歴史的背景と概念整理」久馬理史、土橋和文、島本和明『Cardiologist』4(4)250-254
- 「HISTORY コレステロールと動脈硬化を考えた始まりから」齋藤康『BIO Clinica』14(2)194-197
- 「ニトログリセリン物語③」酒井シヅ『Norvartis Cardio Journal』11,11
- 「「脳の謎」にせまる 脳のエピソード 歴史を変えた(?) 脳の病氣」佐野圭司『治療』81(1)6-9
- 「近代血液学の建設者 造血因子 エリスロポエチンを中心に」柴田昭『Sysmex Journal』22(2)255-261
- 「悪性リンパ腫研究の歴史的展望と国内における研究の現状 (抄)」下山正徳『日本リンパ網内系学会会誌』39(2)88
- 「慢性閉塞性肺疾患 COPDの疾患概念 歴史と今日の理解」永井厚志『カレントセラピー』17(8)1312-1315

「今なぜビタミンか ビタミン学の歩みと展望」橋詰直孝
『栄養・評価と治療』16(1)27-28

「感染症を持つ患者の隔離の概念の変遷 社会的背景と疾病
の変化からみた変遷」持木香代『神奈川県立看護教育大学
校看護教育研究集録』(24)98-105

「一次変性痴呆症 大脳皮質基底核変性症」森松光紀『脳21』
2(1)37-45

45 皮膚科史

「病草紙(平安時代から鎌倉時代)に見られる皮膚疾患につい
て」荻野篤彦『医療』53(増刊)296

「皮膚刺激性試験の歴史と現状」小島肇夫『Environmental
Dermatology』6(Suppl. 1)42

「皮膚科学の曙」酒井シツ『日本皮膚科学会雑誌』109(12)
1727-1728

46 泌尿器科史

「アンドロロジーの最近の進歩 モダンアートの時代のアン
ドロロジー」岡田弘『臨床泌尿器科』53(12)987-991

「日本泌尿器科学会西日本総会 50年の歩み 近代泌尿器科
学確立の半世紀」熊澤浄一『西日本泌尿器科』61(3)191-
199

「治療の歴史 前立腺癌」酒井英樹、金武洋、斎藤泰『治療学』
33(7)793-796

「泌尿器科領域におけるレーザー治療の歴史と将来展望」棚
橋善克『日本レーザー医学会誌』20(3)259

47 病院史

「スペインの古い病院について 大分のアルメイダ病院との
比較で(抄)」石田純郎『医譚』(74)59

「私的病院の発展プロセスについて歴史的分析 福岡県私的
病院のフィールド調査」加藤尚子、堀口裕正、長谷川敏彦
『病院管理』36(Suppl.)204

「「病院」と「hospital」」金久保好男『千葉医学雑誌』75(4)
225-227

「シリーズ各部報告(2) 病院部」小山寿雄『だより(練馬区
医師会)』(376)1-2

「農村医学の発展一佐久病院における臨床疫学的方法の実践
—(抄) 杉山章子『日本医史学雑誌』45(2)278-279

「シリーズ病院今昔物語 第9回 浪江堂 三野原病院」高橋
喬『Medical Tribune』32(2)14

「シリーズ病院今昔物語 第10回 福岡市・原三信病院」高
橋喬『Medical Tribune』32(6)14

「シリーズ病院今昔物語 第11回 山梨県立中央病院」高橋
喬『Medical Tribune』32(10)10

「シリーズ病院今昔物語 第12回 静岡市立静岡病院」高橋
喬『Medical Tribune』32(14)10

「シリーズ病院今昔物語 第13回 知命堂病院」高橋喬

『Medical Tribune』32(19)18

「シリーズ病院今昔物語 第14回 神戸海星病院」高橋喬
『Medical Tribune』32(23)18

「シリーズ病院今昔物語 第15回 長野赤十字病院」高橋喬
『Medical Tribune』32(27)16

「シリーズ病院今昔物語 第16回 市立釧路総合病院」高橋喬
『Medical Tribune』32(32)8

「シリーズ病院今昔物語 第17回 爽神七山病院」高橋喬
『Medical Tribune』32(36)16

「シリーズ病院今昔物語 第18回 大館市立総合病院」高橋喬
『Medical Tribune』32(41)12

「日本の病院及びその機能の医学史的研究(抄)」長谷川敏彦
『日本医史学雑誌』45(2)276-277

48 病跡学

「明治女医史の基礎的研究(三) 婦人共立育児会病院(抄)」三崎裕子
『日本医史学雑誌』45(2)290-291

「無頼派作家・坂口安吾におけるアイデンティティの混乱と再編」渡辺亘
『日本病跡学雑誌』(58)56-69

49 病理学史

「剖検、ウイルス学、形態学」梶田昭『科学医学資料研究』(302)1-7

「Introduction and Development of Pathology in Korea」Je

G. CHI『日本医史学雑誌』45(3)500-489

「歴史に生きる病理学(抄)」鍋島陽一『日本病理学会会誌』88(1)112

「日本人の病気と病理学 広く日本人が貢献した疾病等について」羽野寛、城謙輔、池上雅博、福田隆浩、金剛友木子、原田徹、二村聡、中山順今、竹内紋子、高井重治『病理と臨床』17(臨増)344-358

「日本人の病気と病理学 日本の病理学史」町並陸生『病理と臨床』17(臨増)1-2

50 風俗史

「足の神様—服部天神」吉元昭治『医道の日本』58(2)230

52 法医学史

「法医学からみた覚醒剤中毒 覚醒剤とは、覚醒剤の歴史」井上博之、的場梁次『治療』81(8)2235-2241

53 放射線医学史

「日本の放射線腫瘍学の歩み 黎明期、日本放射線腫瘍学会の誕生、国際放射線腫瘍学会の開催」阿部光幸『日本放射線腫瘍学会誌』11(1)13-20

「癌の放射線療法法の現状と将来 ラジウム発見100年を記念して 放射線腫瘍学の進歩その歴史と展望」大川智彦『癌と化学療法』26(9)1269-1274

「続・被爆者本位の医学—故丸山博先生の霊前に捧ぐ—」高木昌彦『医学史研究』(75)32-36

54 本草学史・博物学史

「金大医学部蔵『ドドネウス草木誌』の謎」今井一良『北陸医史』20(1)1-3

「重要文化財に指定された「阿蘭陀本草和解」を観て」岩治勇一『福井県医師会だより』(458)20

「文化年間の南部藩における薬草採取奨励事業に関する歴史的考察(抄)」大久保正、菅原和信『日本薬学会119年会講演要旨集』(4)209

「清以前本草図の作風と学術価値(抄)」鄭金生『日本医史学雑誌』45(2)296-297

「山本溪山著『入越日記』(四)能登周遊採薬紀行(中)」正橋剛二『啓迪』(17)23-30

「山本溪山著『入越日記』(三)一能登周遊採薬紀行(上)一」正橋剛二『医譚』(74)27-35

55 麻酔学史

「呼吸調節(初級編)呼吸調節研究の歴史—呼吸調節の二酸化炭素依存性が決まるまで」諏訪邦夫『LiSA』6(10)968-969

「マンスフェルド麻酔学講義—小石二郎ノート(抄)」藤田俊夫『医譚』(74)57-58

「20世紀の日本の麻酔科学と将来への展望」松木明知『麻酔

48(増刊)7-12

「数奇な運命を辿った John Snow のエーテル麻酔の著書—英国から米国、日本、そして再び英国へ—」松木明知『科学医学資料研究』(302)8-12

56 門人録

「多紀元孝・元徳・元簡門人帳」町泉寿郎『漢方の臨床』46(3)739-747

57 薬学史

「治療薬誕生秘話—短時間型睡眠導入薬 brotizolam (レンドルミン錠)の開発の歴史と日本での現状」石井寿和『臨床精神薬理』2(11)1279-1283

「マンドラゴラ異聞」泉彪之助『日本医史学雑誌』45(4)601-605

「プタンとペンタンの谷間」内林政夫『薬史学雑誌』34(1)42-45

「日本の薬師如来像の薬器(壺)」奥田潤『慾斎研究会だより』(84)2-7

「日本における液体薬用瓶のコルク栓利用の歴史」小野公義『薬史学雑誌』34(1)24-28

「生薬量詞としての「物」から「味への変遷」」郭秀梅、岡田研吉『漢方の臨床』46(9)1596-1605

「アメリカ薬剤師倫理規定に関する史的考察」川村和美、奥

- 田潤『薬史学雑誌』34(1)13-23
- 「黄連の史的考察(第2報) オウレンの和古名について」川本光重、御影雅幸『薬史学雑誌』34(1)35-41
- 「喘息治療薬開発の歴史(3)」木村統治『喘息』12(3)85-90
- 「『皇漢医学』の中の生薬」小根山隆祥『漢方の臨床』46(3)677-692
- 「葉酸の発見の歴史と分析法の発展」小橋昌裕『ビタミン』73(1)23-26
- 「明治期の薬学校史 明治期の京都薬科大学」鈴木栄樹『薬史学雑誌』34(1)1-6
- 「オランダ国立自然史博物館に収蔵されているシーボルト収集の鳥類及び哺乳類標本のリスト」武石全慈、佐々木浩、山口隆男『鳴滝紀要』(9)28-38
- 「田中彌性園蔵朝鮮通信使品書にみる渡来薬(抄)」田中祐尾『医譚』(74)60-61
- 「拮抗薬の歴史」長尾拓『臨床のあゆみ』(40)4-5
- 「テリアカの再検討(抄)」中村輝子、遠藤次郎『日本医史学雑誌』45(2)238-239
- 「配置売薬のふるさと1 金岡邸」古田一夫『ヒューマンサイエンス』10(1)38-39
- 「配置売薬のふるさと2 富山売薬の歴史」古田一夫『ヒューマンサイエンス』10(2)38-39
- 「配置売薬のふるさと3 富山売薬さん点描」古田一夫『ヒューマンサイエンス』10(3)38-39

- 「ビタミン研究のブレイクスルー ビタミンC ビタミンCの発見と新展開」村田晃『ビタミン』73(2)95-98
- 「明治期の薬学校史 -名古屋市立大学薬学部115年」八代有『薬史学雑誌』34(1)7-12

58 蘭学史

- 「出島阿蘭陀商館の三板(舳)について—蘭館日誌の記述を軸として—」今村英明『洋学史研究』(16)26-40
- 「江戸参府におけるカピタンの遺銀と阿蘭陀通詞」片桐一男『鳴滝紀要』(9)11-27
- 「伊東昇迪筆『悉勃児都處治聞見録』とシーボルト著『江戸参府紀行』の治療に関する記事について」永松実『鳴滝紀要』(9)52-60

59 リハビリテーション関係史

- 「咽頭全摘術後の音声リハビリテーションの歴史」犬山征夫『JOHNS』15(2)262-270
- 「心臓リハビリテーションのあり方を見直す その歴史から今後を考える どう変化してきたのか」道場信孝『心臓リハビリテーション』4(1)12-14
- 「ライブマイルのマッサージ術に関する1考察 我国最初のマッサージ術の特徴」和久田哲司、和田恒彦、西條一止『日本温泉気候物理医学会雑誌』63(1)24

60 検 査

「検査の変遷と将来展望 血液凝固検査の変遷と展望」鈴木節子『医学検査』48(3)223-229

「治験の現状と問題点 臨床試験の歴史的流れ 特にわが国における臨床試験の質の向上を目指して」内藤周幸『Biomedical Perspectives』8(4)363-369

「尿検査の簡単な歴史 予後、診断、及びヒト水状分泌物(抄)(英文)」Bloom David A.『西日本泌尿器科』61(臨増)48-49

「超音波検査 検査の歴史」松原馨『日本放射線技師会雑誌』46(8)955-961

61 そ の 他

「旅行医学 旅行医学の歴史」小原博『Biomedical Perspectives』8(3)275-281

「茶と日本人(抄)」熊倉功夫『日本医史学雑誌』45(2)155-157

「第29回生物医学図書館員研究会の報告」児玉関『医学図書館』46(2)209-211

「近代日本の医療分野人材開発の政策について(医師と産婆の役割)(抄)」近藤久禎、長谷川敏彦『日本医史学雑誌』45(2)282-283

「今月の誌上ギャラリー 19世紀の売薬のカラフルな広告」酒井シヅ『循環科学』19(1)巻末

「今月の誌上ギャラリー 診察」酒井シヅ『循環科学』19(3)巻末

「今月の誌上ギャラリー 占星術と医療」酒井シヅ『循環科学』19(2)巻末

「スペースメディスン 2003年宇宙ステーションをめざして 宇宙医学の歴史的経緯から将来の展望」谷島一嘉『BIO Clinica』14(11)950-951

「航空医学の歴史とその役割(英文)」Finkelstein Silvio『宇宙航空環境医学』36(1)39-42

「救命救急センター10年の歩み 歴史、現状、展望」本多拓、広瀬保夫『新潟市民病院医誌』20(1)107-113

「江戸以前全医学著作のインターネット検索(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』45(2)292-293

62 中国語文献

「21世紀的中国医史学研究展望」李経緯『中華医史雑誌』29(1)3-4

「美国第一个外科診所」小輝『中華医史雑誌』29(1)4

「五年来中国医学史研究概況」朱建平『中華医史雑誌』29(1)5-9

「科爾沁出土的医学教授印初探」那木吉拉・哈斯図雅等『中華医史雑誌』29(1)9

「俄国現藏的中国出土古医薬文献」馬継興『中華医史雑誌』29(1)10-14

- 「我国早期的女子医学院」宋之琪『中華医史雜誌』29(1)14
- 「俄藏黑水城中医藥文献初探」張如青『中華医史雜誌』29(1)15-17
- 「重医時尚與医学繁荣」王三虎『中華医史雜誌』29(1)17
- 「『瓊瑤神書』考略」黃鼈祥『中華医史雜誌』29(1)18-20
- 「元代藏医学家章迪·巴旦措謝」本考『中華医史雜誌』29(1)20
- 「『温病条辨』著成年代」李劉坤『中華医史雜誌』29(1)21-23
- 「覃勤關於中医争取發展權斗争史实之摘要」李經緯『中華医史雜誌』29(1)24-28
- 「西方近代医学倫理学發展的特点」張大慶『中華医史雜誌』29(1)29-34
- 「胸腔鏡外科的發展歷史」王俊『中華医史雜誌』29(1)35-38
- 「河南省近代医学教育發展概略及啓發」梁潤英·王国富『中華医史雜誌』29(1)39-41
- 「西医東漸後我国近代的女子医学教育」盧平『中華医史雜誌』29(1)42-45
- 「莨菪類成分藥物臨床応用發展簡史」趙普干·劉曉平『中華医史雜誌』29(1)46-47
- 「明清外科刀具的命名、功能及分類」和中浚『中華医史雜誌』29(1)48-52
- 「蒙古族原始薩滿医術考」博·阿古拉·薩仁圖雅『中華医史雜誌』29(1)53-55
- 「医生為什麼要有医学史知識」程之范『中華医史雜誌』29(1)

56-58

- 「万全研究的新成果一評『万全生平著述考』」万芳『中華医史雜誌』29(1)59-60
- 「考据時尚與医学經典」王三虎『中華医史雜誌』29(1)60
- 「当前中医史研究存在的問題及对策」張瑞賢·倪青『中華医史雜誌』29(2)67-69
- 「保健時尚古今談」王三虎『中華医史雜誌』29(2)69
- 「对外感病辨治体系的歷史考察」彭堅『中華医史雜誌』29(2)70-73
- 「軍事生涯对張景岳医学思想的影響」王三虎『中華医史雜誌』29(2)74-76
- 「“逐邪勿拘結糞”說是吳又可的重要貢獻」戴春福·翁曉紅『中華医史雜誌』29(2)77-78
- 「明代助産手法的進步及其評價」張志斌『中華医史雜誌』29(2)79-81
- 「拔毒療法的歷史沿革」楊金生『中華医史雜誌』29(2)82-84
- 「『本草図経』與現代中藥鑒定学的淵源」姜大成『中華医史雜誌』29(2)85-87
- 「抗生素科学發展簡史」戴紀剛·張国強·黃小兵等『中華医史雜誌』29(2)88-91
- 「宗教信仰对蒙古医学的影嚮」策·財吉拉胡『中華医史雜誌』29(2)92-95
- 「古代急救藥摩方特点」牛淑平·朱長剛『中華医史雜誌』29(2)95

- 「章炳麟和祖国医学」黄兆強・黄孝周・劉家華『中華医史雜誌』29(2)96-99
- 「羅芝園『鼠疫彙編』在嶗南鼠疫病史之地位及價值」李禾・賴文『中華医史雜誌』29(2)100-103
- 「『注解傷寒論』所据祖本考」李玉清『中華医史雜誌』29(2)104-108
- 「深師生存時間考異」李紅・張谷運『中華医史雜誌』29(2)108
- 「『黄帝内經太素』的分類特点探析」徐春波『中華医史雜誌』29(2)109-112
- 「漢代銅制藥白藥杵」王暖・王知行『中華医史雜誌』29(2)112
- 「『景岳全書』初刊年份雜言」陳蓉蓉『中華医史雜誌』29(2)113-114
- 「清代醫師旅日史鈎沉」郭秀梅・岡田研吉・酒井シヅ等『中華医史雜誌』29(2)115-120
- 「『普濟方』中的口腔疾病史料」楊蘭『中華医史雜誌』29(2)121-123
- 「如何學習医学史」宋之琪『中華医史雜誌』29(2)124-126
- 「科学精神與人文精神的統一評『医学概論』」李經緯・王明旭『中華医史雜誌』29(2)127-128
- 「關幼波」『中華医史雜誌』29(2)封四
- 「喬仰先」『中華医史雜誌』29(2)封四
- 「明代六部綜合性医書的傳日及其影響」靳士英・靳朴『中華医史雜誌』29(3)131-134
- 「我国的放射免疫檢測臨床応用」劉曉蘭『中華医史雜誌』29

(3)134

- 「『神農本草經』書名出現時代的討論」尚志鈞『中華医史雜誌』29(3)135-138
- 「現存最早中医護理学專書—『侍疾要語』」傅維康『中華医史雜誌』29(3)139-140
- 「明清時期中医藥文献述評」胡濱『中華医史雜誌』29(3)141-144
- 「20世紀早期美国的兒科学」于蘭『中華医史雜誌』29(3)144
- 「曹翕医著考」杜勇『中華医史雜誌』29(3)145-148
- 「中国最早的教会医院—博濟医院」宋之琪『中華医史雜誌』29(3)148
- 「從研究詞義变化判断『内經』成書時代」馮松杰『中華医史雜誌』29(3)149-150
- 「『名医類案』内科病外治療法綜述」李俊・楊俊・何劍平『中華医史雜誌』29(3)151-152
- 「明代女医談允賢及其医案『女医雜言』」鄭金生『中華医史雜誌』29(3)153-156
- 「『医述』初版年代考」易璋『中華医史雜誌』29(3)156
- 「嶺南医家邱僖與牛痘術」陳朝暉・鄭洪『中華医史雜誌』29(3)157-161
- 「海南第一所麻風院」林詩泉『中華医史雜誌』29(3)161
- 「晚清広州博濟医院的杰出学生(1855~1900)」劉澤生『中華医史雜誌』29(3)162-165
- 「歷代医家对針刺治療急性咽喉病的論述」張玉敏・李志敏

- 『中華医史雜誌』29(3)166-167
- 「19世紀後葉 20世紀前葉中国的学校健康教育」張丹紅·張蘇萌『中華医史雜誌』29(3)168-170
- 「台湾名医杜聰明」何兆雄『中華医史雜誌』29(3)171-174
- 「台湾解剖祭考」高田·哈鴻潛『中華医史雜誌』29(3)175-177
- 「蓋倫以前的早期藥学發展概論」鍾贛生·万芳『中華医史雜誌』29(3)178-182
- 「一冊有吳謙署名的手寫本」魏睦森『中華医史雜誌』29(3)182
- 「回顧國際疾病分類的第十次修訂」方崇亮『中華医史雜誌』29(3)183-186
- 「『温病条辨』陽明温毒楊梅瘡病考実」孫啓明『中華医史雜誌』29(3)186
- 「談中国古代名医的素質」韓剛『中華医史雜誌』29(3)187-188
- 「應用医史研究——一個需要加強的医史研究方向」陳達理『中華医史雜誌』29(3)189-190
- 「評介『中国歷代衛生組織及医学教育』」陸肇基『中華医史雜誌』29(3)191-192
- 「加強医学史教育宣化辨証唯物主義」程之范·張大慶『中華医史雜誌』29(4)195-196
- 「我国青光眼診療發展史」黃小勇·吳廷瑞·賀翔鶴『中華医史雜誌』29(4)197-199
- 「類中風概念演變史」郭蓉『中華医史雜誌』29(4)200-202
- 「幽門螺旋杆菌發現簡史」李健·吳麗莉·馮常焯『中華医史雜誌』29(4)203-206
- 「1894年広州鼠疫考」賴文·李永宸『中華医史雜誌』29(4)207-210
- 「秦漢時期洗沐習俗考察」彭衛『中華医史雜誌』29(4)211-214
- 「医学生誓言」柳青·徐維廉『中華医史雜誌』29(4)214
- 「心电图研究與現代心电图檢測法建立的歷史回顧」李志平·張福利·馬学博『中華医史雜誌』29(4)215-219
- 「孫思邈『千金方』中的佛教影響」朱建平『中華医史雜誌』29(4)220-222
- 「宋代文化與中医古籍整理研究」蔡永敏·李玉華『中華医史雜誌』29(4)223-226
- 「『五十二病方』蛇傷方藥簡析」談宇文『中華医史雜誌』29(4)227-229
- 「『脈經』中的居經概念」張志斌『中華医史雜誌』29(4)229
- 「五石散之治療作用及毒副作用雜議」周益新·張芙蓉『中華医史雜誌』29(4)230-232
- 「汪逢春生平年代考」吳中雲『中華医史雜誌』29(4)233-234
- 「浙江中医主要學術流派」陳春圃『中華医史雜誌』29(4)235-238
- 「淺談『千金要方』对中医外治法的貢獻」蕭守貴『中華医史雜誌』29(4)238
- 「唐時諸王水析疑」喬海法·喬永法·李紅芹『中華医史雜誌』29(4)239-241
- 「東三省防疫処紀略」馬学博·宓元翼『中華医史雜誌』29(4)241

- 「汪機著述考」王旭光・章麗華『中華医史雜誌』29(4)242-245
 「宋大仁年譜」周明忻『中華医史雜誌』29(4)246-249
 「20世紀初歐洲的小兒科学」于蘭『中華医史雜誌』29(4)249
 「羅美籍貫考」華浩明『中華医史雜誌』29(封三)4
 「黄帝内經所引非医籍考」郭秀梅『伝統医学療法精粹』9-12
 「中藥量詞從物到味的演变」郭秀梅『全国中医藥文化研究普及・医古文研討会論文集』131-134
 「盜汗証理論的歷史性變遷」郭秀梅『伝統医学療法精粹』6-9
 「淋瀝・淋露・連綿詞」郭秀梅『浙江中医雜誌』1999(6)36-37

64 欧文文献

- ABEL, Ernest L.: "Who Goes Drunk to Bed Begets but a Girl": The History of a Renaissance Medical Proverb: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(1)5-22
 ALTER, G.C./CARMICHAEL, A.G.: Classifying the Dead: Toward a History of the Registration of Causes of Death: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)114-132
 ARRIZABALAGA, Jon: Medical Causes of Death in Preindustrial Europe: Some Historiographical Considerations: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)241-260
 BAXBY, Derrick: Edward Jenner's Unpublished Cowpox Inquiry and the Royal Society: Everard Home's Report to Sir Joseph Banks: *Medical History*: 43(1)108-110
 BEUSTERIEN, John L.: Jewish Male Menstruation in Seventeenth-Century Spain: *Bull. Hist. Med.*: 73(3)447-456
 BIEN, Christian G.: Galen zum Problem der Mißbildungen: *Sudhoffs Archiv*: 83(1)67-72
 BLÉCOURT, W./USBORNE, C.: Preface: Situating "Alternative Medicine" in the Modern Period: *Medical History*: 43(3)283-285
 BLÉCOURT, W./USBORNE, C.: Women's Medicine, Women's Culture: Abortion and Fortune-Telling in Early Twentieth-Century Germany and the Netherlands: *Medical History*: 43(3)376-392
 BRÜNHOLZL, Christoph: Gedanken zur krankheit Hermanns von Reichenau(1019-1054): *Sudhoffs Archiv*: 83(2)239-243
 BURNARD, Trevor: 'The Countrie Continues Sicklie': White Mortality in Jamaica, 1655-1780: *So. Hist. Med.*: 12(1)45-72
 BURNHAM, John C.: Biomedical Communication and the Reaction to the Queensland Childhood Lead Poisoning Cases Elsewhere in the World: *Medical History*: 43(2)155-172
 BURNS, C.R./CAMPBELL, H.G.: The Extraordinary Influences of Two British Physicians on Medical Education and Practice in Texas at the Turn of the 20th

- Century: Vesalius: 5(2)79-84
- CARLSON, J.R./HAMMOND, P.W.: The English Sweating Sickness (1485-c.1551): A New Perspective on Disease Etiology: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(1)23-54
- CORTIULA, Mark W.: Serum and the Soluvac: The Australian Approach to Whole Blood Substitutes and Blood Transfusion during the Second World War: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(3)413-438
- D'ANTONIO, Patricia: Revisiting and Rethinking the Rewriting of Nursing History: *Bull. Hist. Med.*: 73(2) 268-290
- DANIELS, Roger: Professional Health Care and the Japanese American Incarceration-An Introduction to the Symposium: *Bull. Hist. Med.*: 73(4)561-564
- DAVIES, Owen: Cunning-Folk in the Medical Marketplace during the Nineteenth Century: *Medical History*: 43(1)55-73
- DAVIES, R.P.O./TOCQUE, K./BELLIS, M.A./REMMINGTON, T./DAVIES, P.D.O.: Historical Declines in Tuberculosis in England and Wales: Improving Social Conditions or Natural Selection?: *Vesalius*: 5(1)25-29
- DELACY, Margaret: Nosology, Mortality, and Disease Theory in the Eighteenth Century: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)261-284
- DROR, Otniel E.: The Affect of Experiment: The Turn to Emotions in Anglo-American Physiology, 1900-1940: *Isis*: 90(2)205-237
- DUMAS, G/WALLIS, F.: Theory and Practice in the Trial of Jean Domremi, 1423-1427: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(1)55-87
- DYER, Frederick N.: Autobiographical Letter from Horatio Robinson Storer, M.D., to His Son, Malcolm Storer, M.D., Discussing the "History of Gynaecological Teaching": *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(3)439-458
- FINCH, Lynette: Soothing Syrups and Teething Powders: Regulating Proprietary Drugs in Australia, 1860-1910: *Medical History*: 43(1)74-94
- FISSET, Louis: Public Health in World War II Assembly Centers for Japanese Americans: *Bull. Hist. Med.*: 73(4) 565-584
- FLANNERY, Michael A.: Another House Divided: Union Medical Service and Sectarians during the Civil War: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(4)478-510
- FLIESS, K.H./GUTMANN, M.P.: Parochial Burial Registers: The Case of Texas in the Nineteenth Century: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)296-311
- GHESSQUIER, Danièle: A Gallic Affair: The Case of the Missing Itch-Mite in French Medicine in the Early

- Nineteenth Century: *Medical History*: 43(1)26-54
- GROSS Dominik: Die Aufhebung des Wundarztberufs: *Sudhoffs Archiv Beihefte*: 411-320
- HANSEN, Bert: New Images of a New Medicine: Visual Evidence for the Widespread Popularity of Therapeutic Discoveries in America after 1885: *Bull. Hist. Med.*: 73(4)629-678
- HARDY, Anne: Food, Hygiene, and the Laboratory. A Short History of Food Poisoning in Britain, circa 1850-1950: *So. Hist. Med.*: 12(2)293-311
- HARLEY, David: Rhetoric and the Social Construction of Sickness and Healing: *So. Hist. Med.*: 12(3)407-435
- HARRIS, Bernard: Morbidity and Mortality during the Health Transition: a Comment on James C. Riley, 'Why Sickness and Death Rates Do Not Move Parallel to One Another over Time': *So. Hist. Med.*: 12(1)125-131
- HAU, Michael: Gender and Aesthetic Norms in Popular Hygienic Culture in Germany from 1900 to 1914: *So. Hist. Med.*: 12(2)271-292
- HELM, Jürgen: "Medicinam aspernari impietas est."-Zum Verhältnis von Reformation und akademischer Medizin in Wittenberg: *Sudhoffs Archiv*: 83(1)22-41
- HIRSCHHORN, N/FELDMAN, R.G.: Mary Lincoln's Final Illness: A Medical and Historical Reappraisal: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(4)511-542
- HOPWOOD, Nick: "Giving Body" to Embryos: Modeling, Mechanism, and the Microtome in Late Nineteenth-Century Anatomy: *Isis*: 90(3)462-496
- HUISMAN, Frank: Shaping the Medical Market: On the Construction of Quackery and Folk Medicine in Dutch Historiography: *Medical History*: 43(3)359-375
- JANNETTA, Ann: Problems of Classifying Deaths in Nineteenth-Century Japan: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)285-295
- JANOT, F./BOURRIER, P./NEVEUX, A.: Réplique et utilisation d'un nouvel instrument d'embaumement provenant d'un instrumentarium daté de la XXXe dynastie égyptienne: *Vesalius*: 5(2)72-78
- JARCHO, Saul: An Early Report of Familial Bronchiectasis: *Bull. Hist. Med.*: 73(2)291-293
- JENSEN, Gwenn M.: System Failure: Health-Care Deficiencies in the World War II Japanese American Detention Centers: *Bull. Hist. Med.*: 73(4)602-628
- JOHANSEN, Hans Christian: The Development of Reporting Systems for Causes of Deaths in Denmark: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)154-166
- JOHNSON, Alastair: The Diary of Thomas Giordani Wright: Apprentice Doctor in Newcastle upon Tyne,

- 1824-29: *Medical History*: 43(4)468-484
- JOY, Robert J.T.: Malaria in American Troops in the South and Southwest Pacific in World War II: *Medical History*: 43(2)192-207
- JÜTTE, Robert: The Historiography of Nonconventional Medicine in Germany: A Concise Overview: *Medical History*: 43(3)342-358
- KANNE, S.M./FINGER, S.: Konstantin M. Bykov and the Discovery of the Role of the Corpus Callosum: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(4)572-590
- KASSELL, Lauren: How to Read Simon Forman's Casebooks: Medicine, Astrology, and Gender in Elizabethan London: *So. Hist. Med.*: 12(1)3-18
- KINTNER, Hallie J.: Recording the Epidemiologic Transition in Germany, 1816-1934: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)167-189
- KIRSCHMANN, Anne Taylor: Adding Women to the Ranks, 1860-1890: A New View with a Homeopathic Lens: *Bull. Hist. Med.*: 73(3)429-446
- KUNITZ, Stephen J.: Premises, Premises: Comments on the Comparability of Classifications: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)226-240
- LAWRENCE, Christopher: A Tale of Two Sciences: Bedside and Bench in Twentieth-Century Britain: *Medical History*: 43(4)421-449
- LELLOUCH, A.: L'humanisme médical à la Faculté de Médecine de Paris: cent ans d'histoire (1795-1898): *Vesalius*: 5(1)11-17
- LINDEN, David E.J.: Gabriele Zerbi's *De cautelis medicorum* and the Tradition of Medical Prudence: *Bull. Hist. Med.*: 73(1)19-37
- LO, Vivienne: Tracking the Pain. Jue and the formation of a theory of circulating qi through the channels: *Sudhoffs Archiv*: 83(2)191-211
- LORD, Alexandra: "The Great *Arcana* of the Deity": Menstruation and Menstrual Disorders in Eighteenth-Century British Medical Thought: *Bull. Hist. Med.*: 73(1)38-63
- LOUDON, Irvine: The Measurement of Maternal Mortality: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)312-329
- MACDONALD, Fiona A.: The Infirmary of the Glasgow Town's Hospital, 1733-1800: A Case for Voluntarism?: *Bull. Hist. Med.*: 73(1)64-105
- MARRUS, Michael R.: The Nuremberg Doctors' Trial in Historical Context: *Bull. Hist. Med.*: 73(1)106-123
- MATTERN, Susan P.: Physicians and the Roman Imperial Aristocracy: The Patronage of Therapeutics: *Bull. Hist. Med.*: 73(1)1-18

- MAURER, P./DRIESCH, A.: "Das hilft; das ist gut".
Pferdebücher aus dem tibetischen Himalaja: Sudhoffs
Archiv: 83(1)73-108
- MCCANDLESS, Peter: A Female Malady? Women at the
South Carolina Lunatic Asylum, 1828-1915: J. Hist. Med.
Allied. Sci.: 54(4)543-571
- MCCARTHY, O.R.: Getting a Feel for Percussion:
Vesalius: 5(1)3-10
- MERIDA, M.T.: Puerto Cabello and the Bubonic Plague
Epidemic (1903-1908): Vesalius: 5(2)94-99
- MEYER-RENSCHHAUSEN, E./WIRZ, A.: Dietetics,
Health Reform and Social Order: Vegetarianism as a
Moral Physiology. The Example of Maximilian Bircher-
Benner (1867-1939): Medical History: 43(3)323-341
- MILLAN, Cristina Alvarez: Graeco-Roman Case Histories
and Their Influence on Medieval Islamic Clinical
Accounts: So. Hist. Med.: 12(1)19-43
- MOONEY, G./LUCKIN B./TANNER, A.: Patient Path-
ways: Solving the Problem of Institutional Mortality in
London during the Later Nineteenth Century: So. Hist.
Med.: 12(2)227-269
- MOONEY, Graham: Public Health versus Private Prac-
tice: The Contested Development of Compulsory Infec-
tious Disease Notification in Late-Nineteenth-Century
Britain: Bull. Hist. Med.: 73(2)238-267
- MOULINIER, Laurence: "Deux fragments inédits de Hil-
degarde de Bingen copiés par Gerhard von Hohenkir-
chen(1448)": Sudhoffs Archiv: 83(2)224-238
- MURPHY, Shaun: The Early Days of the MRC Social
Medicine Research Unit: So. Hist. Med.: 12(3)389-406
- OCHI, Takahiro: The History of the Treatment of
Rheumatoid Arthritis: Asian Medical Journal: 42(7)
295-299
- PANGAS, Julio Cesar: Dental Pathology in Ancient
Mesopotamia: Bull. Hist. Med.: 73(2)197-207
- PHILLIPS, J./FRENCH, M.: State Regulation and the
Hazards of Milk, 1900-1939: So. Hist. Med.: 12(3)371-388
- PIERACH, C.A./ JENNEWEIN, E.: Friedrich Wilhelm I.
und Porphyrie: Sudhoffs Archiv: 83(1)50-66
- QUÉNEL, Annick: The Creation of the First Overseas
Pasteur Institute, or the Beginning of Albert Calmette's
Pastorian Career: Medical History: 43(1)1-25
- RAMSEY, Matthew: Alternative Medicine in Modern
France: Medical History: 43(3)286-322
- REBER, Vera Blinn: Blood, Coughs, and Fever: Tuberculo-
sis and the Working Class of Buenos Aires, Argentina,
1885-1915: So. Hist. Med.: 12(1)73-100
- RILEY, James C.: Why Sickness and Death Rates Do Not

- Move Parallel to One Another over Time: *So. Hist. Med.*: 12(1)101-124
- RILEY, James C.: Reply to Bernard Harris: Morbidity and Mortality during the Health Transition: a Comment on James C. Riley: *So. Hist. Med.*: 12(1)133-137
- RINSEMA, Thijs J.: One Hundred Years of Aspirin: *Medical History*: 43(4)502-507
- RODRIGUEZ DE ROMO, A.C./BORGSTEIN, J.: Claude Bernard and Pancreatic Function Revisited after 150 Years: *Vesalius*: 5(1)18-24
- ROGERS, John: Reporting Causes of Death in Sweden, 1750-1950: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)190-209
- ROSENBERG, Harry M.: Cause of Death as a Contemporary Problem: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)133-153
- RUSU, G.: Les débuts de la vaccination jennérienne dans les régions minières de Transylvanie: *Vesalius*: 5(2)100-105
- SABAN, R.: Les prémices de la Physiologie du cerveau humain, de l'Antiquité à la Renaissance: *Vesalius*: 5(1)41-47
- SAKAI, Shizu: "Humane Medical Care" in the History of Medical Science: *Asian Medical Journal*: 42(7)314-320
- SAKAI, Tatsuo: The Origin of Systematic Anatomy (abstract): *Italian Journal of Anatomy and Embryology*: 104(Suppl. 1)604
- SAWYER, Roy T.: The Trade in Medicinal Leeches in the Southern Indian Ocean in the Nineteenth Century: *Medical History*: 43(2)241-245
- SCHÄFER, Daniel: Medical Practice and the Law in the Conflict between Traditional Belief and Empirical Evidence: Post-Mortem Caesarean Section in the Nineteenth Century: *Medical History*: 43(4)485-501
- SEGAL, A.: Les tribulations des mystérieux Dr B...I, précurseurs de l'endoscopie: *Vesalius*: 5(2)85-93
- SHAPIRO-SHAPIN, Carolyn G.: Filtering the City's Image: Progressivism, Local Control, and the St. Louis Water Supply, 1890-1906: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(3)387-412
- SHERWOOD, Joan: Syphilization: Human Experimentation in the Search for a Syphilis Vaccine in the Nineteenth Century: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(3)364-386
- SHTERENSHIS, M.V.: The Position of Nervous Diseases between Internal Medicine and Psychiatry in the XIX Century: *Vesalius*: 5(2)67-71
- SMITH, Susan L.: Women Health Workers and the Color Line in the Japanese American "Relocation Centers" after World War II: *Bull. Hist. Med.*: 73(4)585-601
- STOLBERG, Michael: National Statistics on the Causes of

- Death in Nineteenth-Century Bavaria: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(2)210-225
- STOLBERG, Michael: A Woman's Hell? Medical Perceptions of Menopause in Preindustrial Europe: *Bull. Hist. Med.*: 73(3)404-428
- SWEET, Victoria: Hildegard of Bingen and the Greening of Medieval Medicine: *Bull. Hist. Med.*: 73(3)381-403
- SYED, Renate: Zur Kenntnis der "Grafenberg-Zone" und der weiblichen Ejakulation in der altindischen Sexualwissenschaft: *Sudhoffs Archiv*: 83(2)171-190
- SYMONS, John: The Quest for Hickman: *Medical History*: 43(1)95-107
- TATTERSALL, R B: Hypoadrenia or "A Bit of Addison's Disease": *Medical History*: 43(4)450-467
- TEIGEN, Philip M.: "A Kindly, Useful Mentor": Applying the History of Medicine to Public Policy: *J. Hist. Med. Allied. Sci.*: 54(3)353-363
- TOMKINS, Alannah: Paupers and the Infirmary in Mid-Eighteenth-Century Shrewsbury: *Medical History*: 43(2)208-227
- VANNI, D./SALOMONE, B./POMINI, D./VANNI, P./OTTAVIANI, R.: Joseph Daquin, Piedmontese Savoyard Physician: A "Not Well-known Chiarugi": *Vesalius*: 5(1)30-40
- WAINES, David: Dietetics in Medieval Islamic Culture: *Medical History*: 43(2)228-240
- WEIJERS, I./TONKENS E.: Christianization of the Soul: Religious Traditions in the Care of People with Learning Disabilities in the Netherlands in the Nineteenth Century: *So. Hist. Med.*: 12(3)351-369
- WEISS, Hermann F.: Die Ärzte Friedrich von Hardenbergs und Sophie von Kühns: *Sudhoffs Archiv*: 83(1)42-49
- WHITE, K.N.: Negotiating Science and Liberalism: Medicine in Nineteenth-Century South Australia: *Medical History*: 43(2)173-191
- WIDDER, Joachim: Die Erhaltung der Erregungssumme. Die Physiologen Ernst W. Brücke, Sigmund Exner und Ernst Fleischl von Marxow als Lehrer Sigmund Freuds: *Sudhoffs Archiv*: 83(2)152-170
- ZIEGLER, Joseph: Practitioners and Saints: Medical Men in Canonization Processes in the Thirteenth to Fifteenth Centuries: *So. Hist. Med.*: 12(2)191-225
- ZIEGLER, Joseph: *Ut Dicunt Medici*: Medical Knowledge and Theological Debates in the Second Half of the Thirteenth Century: *Bull. Hist. Med.*: 73(2)208-237